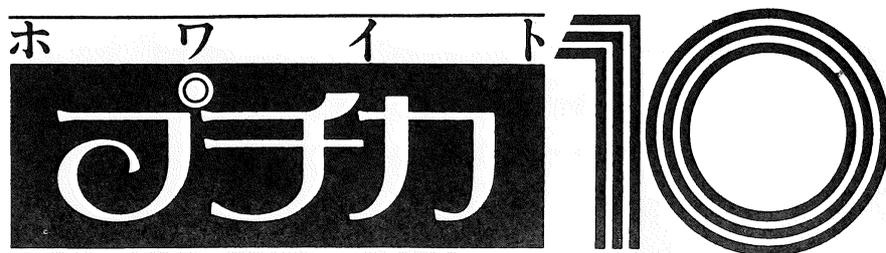


家庭用アルミ温室

ブルーリボフ



組立のしおり



ピカ コーポレイション

この度は、家庭用アルミ温室 **プチカ10**

正しく早く組み立て、末長くご愛用いただくために。

- ① まず“組立のしおり”をよくお読み下さい。
- ② プラスドライバー2番とスパナ(#10)をご用意下さい。
- ③ このページの表にもとずいて、梱包をチェックして下さい。(「プチカ10」の本体は、梱包10TK、梱包--TC、梱包--TR、梱包10YT、梱包10YF、梱包--D、梱包10S、梱包10APの8種類で10梱包です。)
- ④ 次に、3～4頁の組立て順序Step1～完成までの大きな流れを確認して下さい。
- ⑤ それでは5頁のStep1から順に沿って組立てて下さい。
- ⑥ ブロック基礎仕様にされる場合は、32頁のアンカー寸法図及び完成寸法図を参照して下さい。

梱包10TK 妻開口面(2梱包) 品名コード 63WP10TKVC

No.	名称	形状	寸法	数量	備考
①	妻パネル(正面側・裏面側)		W1747×H2333	2	左右各1枚ずつです

梱包--TC 妻FIX中央面(1梱包) 品名コード 63WP--TCVA

②	妻中央パネル		W638×H1721	1	
---	--------	---	------------	---	--

梱包--TR 妻ランマ(1梱包) 品名コード 63WP--TRVA

③	妻ランマ		W624×H469	2	
---	------	---	-----------	---	--

梱包10YT 天窓側屋根(1梱包) 品名コード 63WP10YTVC

④	屋根パネル左(天窓側)		W569×H1136	1	No.3ステッカー
⑤	屋根パネル右(天窓側)		W569×H1136	1	No.4ステッカー
⑥	天窓		W581×H1119	1	No.5ステッカー

梱包10YF 天窓のない屋根(1梱包) 品名コード 63WP10YFVC

⑦	屋根パネル(左側用)		W860.5×H1136	1	No.6ステッカー
⑧	屋根パネル(右側用)		W848.5×H1136	1	No.7ステッカー

梱包--D ドア(1梱包) 品名コード 63WP--D×VB

⑨	ドア		DW573×DH1672	1	寸法はドア障子の外寸法です
---	----	---	--------------	---	---------------

梱包10S 引戸障子(2梱包) 品名コード 63WP10S×VC

⑩	引戸障子		W1673×H1462	2	外、内障子各1枚ずつです
---	------	---	-------------	---	--------------

をお買いあげありがとうございます。

梱包10AP 基本 部材・部品(1梱包) 品名コード 63WP10APVE

No.	名称	形状	寸法	数量	備考
⑫	上枠 (天窓側)		1681mm	1	穴位置が異なります。
⑬	上枠 (天窓のない側)		1681mm	1	
⑭	下枠		1681mm	2	グロメット(配線穴)取り付け済み
⑮	椽木		1681mm	1	
⑯	天窓取付アングル		557mm	1	
⑰	天窓取付角パイプ		598mm	1	ネジ取り付け済み
⑱	天窓開閉装置			1	
⑲	椽用コーナープレート		厚さ 4.5mm	2	
⑳	下枠連結金具 A (ドア付正面側)		厚さ 4.5mm	2	
㉓	アンカーボルト		M8×100	8	
㉔	六角ナット		M8	16	
㉕	角座金		M8	8	
㉖	椽木端カバー			2	
㉗	ドアクローザー			1	右開きドア仕様にセット済
㉘	天窓開閉補助部品		50 mm	2	
㉙	ドアロック			1	取り付け工具付
㉚	ブレースセット			4セット	筋カイ長短各1本, ターンバックル1個で1セットです
㉛	吊り鉢用金具		厚さ 3mm	3	
㉜	天窓ヒンジ端カバー			2	左右各1個ずつです 黒いゴム
㉝	組立ネジセット			1	明細は33頁です
㉞	天窓ヒンジ		602mm	1	

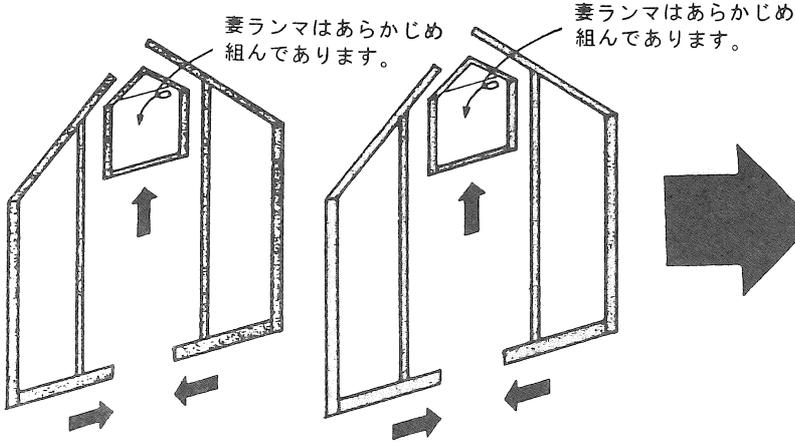
※出入口が引き戸仕様の場合、ドア梱包(63WP--D×VB)にかわって妻引き戸(63WP--TTHVA)と妻引き戸枠(63WP--HWVA) 各1ケースになります。

STEP

組み立てには、プラスチック

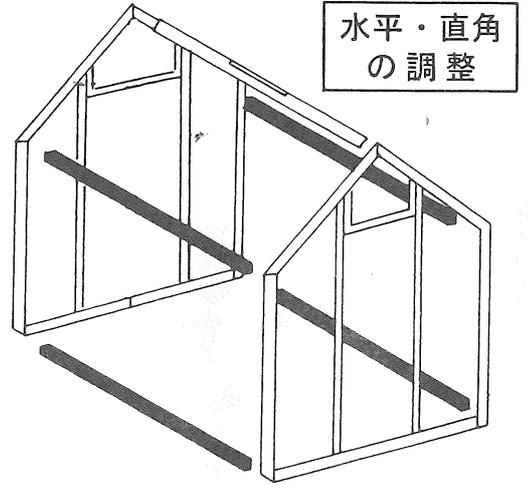
STEP1

あらかじめ工場で組み立ててある左右同じ妻パネルを組み合わせます。



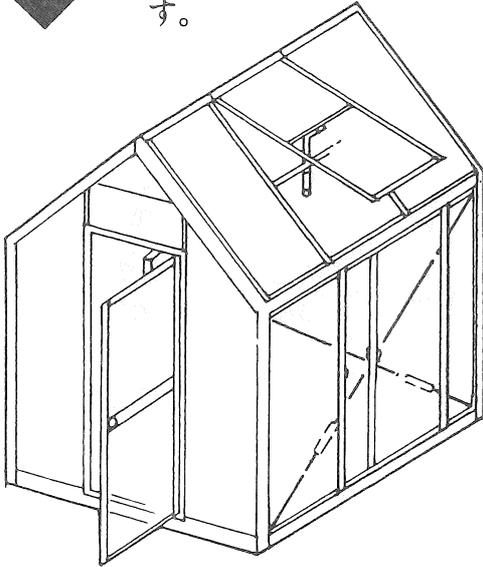
STEP2

枠部材を妻パネルに取り付けます。



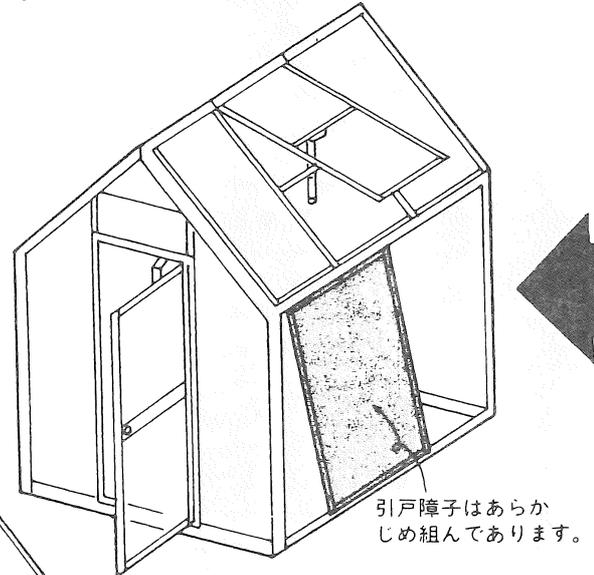
STEP8

ブレースセットを取り付けます。

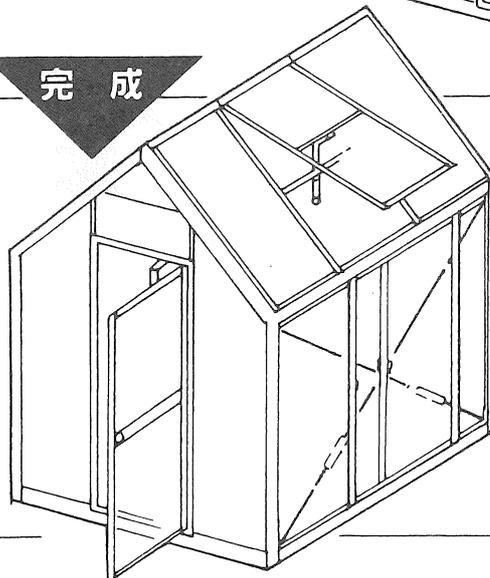


STEP7

あらかじめ工場で組み立ててある引戸障子を組み込みます。



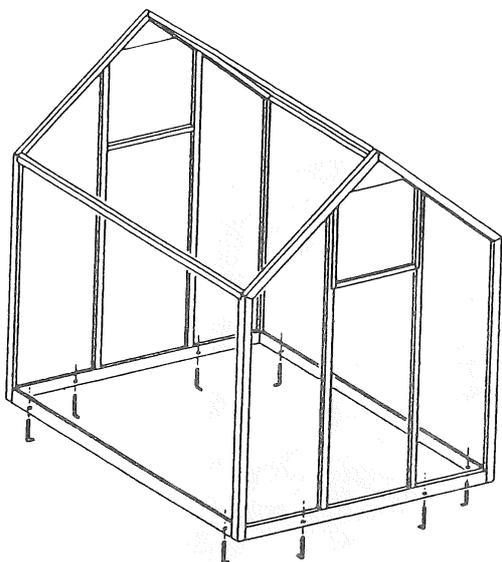
完成



一とスパナ(#10)を各1本ご用意下さい。

STEP3

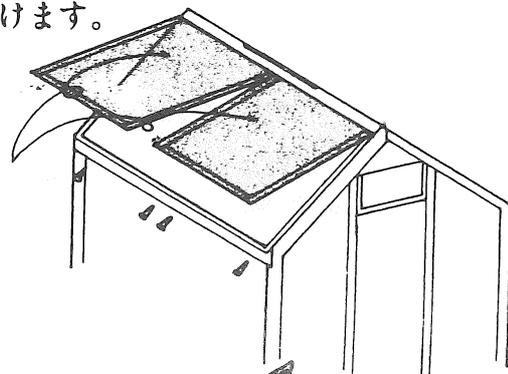
本体を地面に固定します。



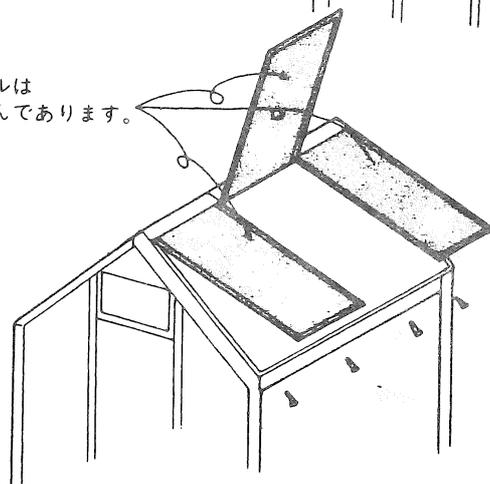
STEP4

あらかじめ工場で組み立ててある屋根パネル・天窗を取り付けます。

屋根パネルはあらかじめ組んであります。

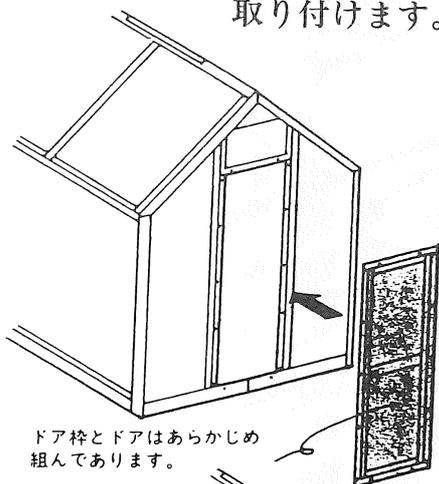


天窗屋根パネルはあらかじめ組んであります。

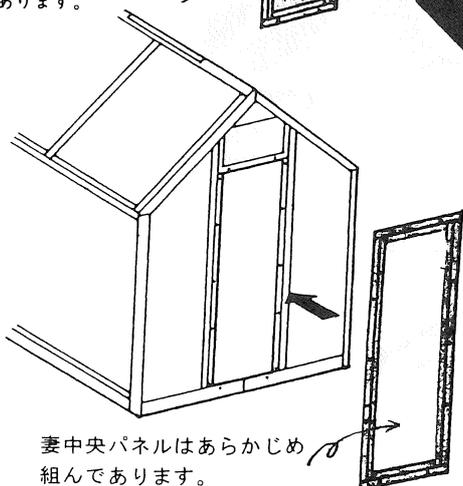


STEP6

あらかじめ工場で組み立ててあるドア枠と妻中央パネルを取り付けます。



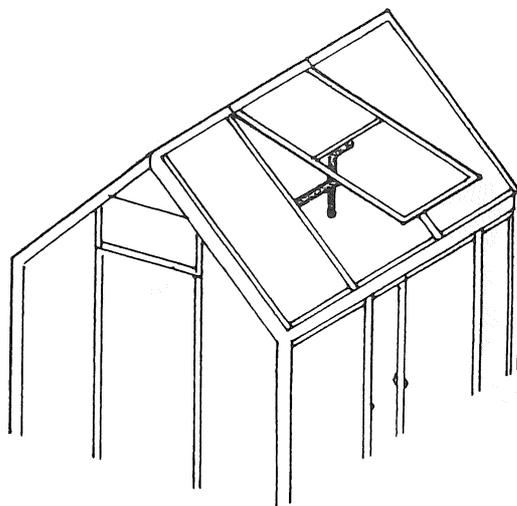
ドア枠とドアはあらかじめ組んであります。



妻中央パネルはあらかじめ組んであります。

STEP5

天窗開閉装置を取り付けます。

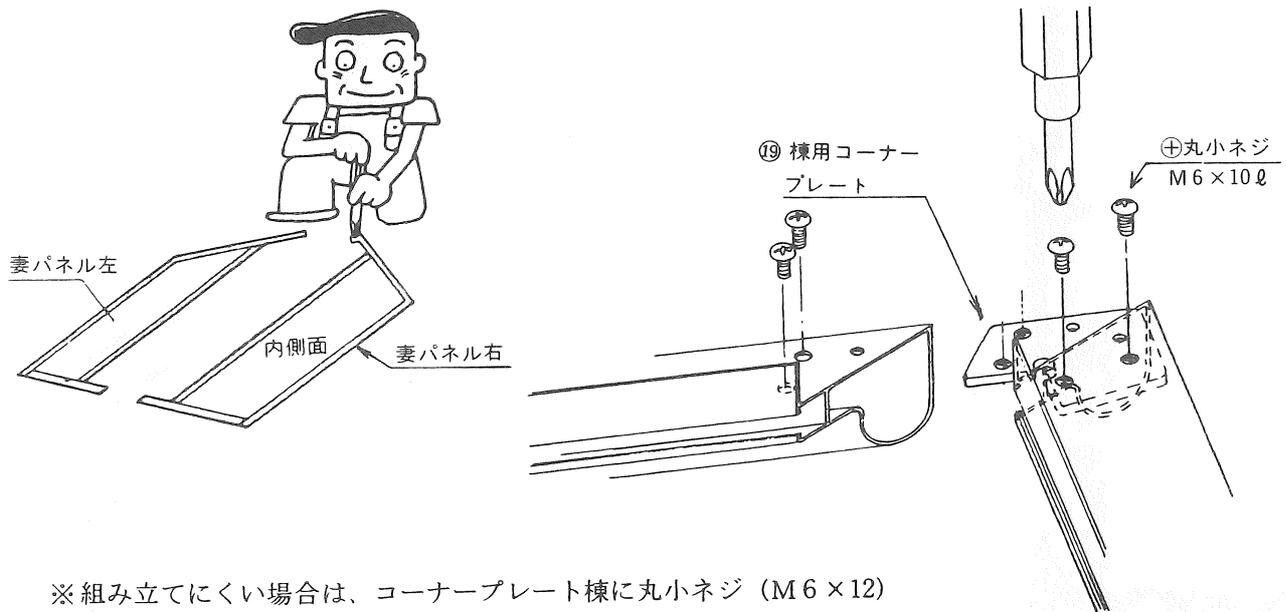


左右の妻パネルを組み合つま

☆妻パネル(正面側・裏面側)を組み立てます。

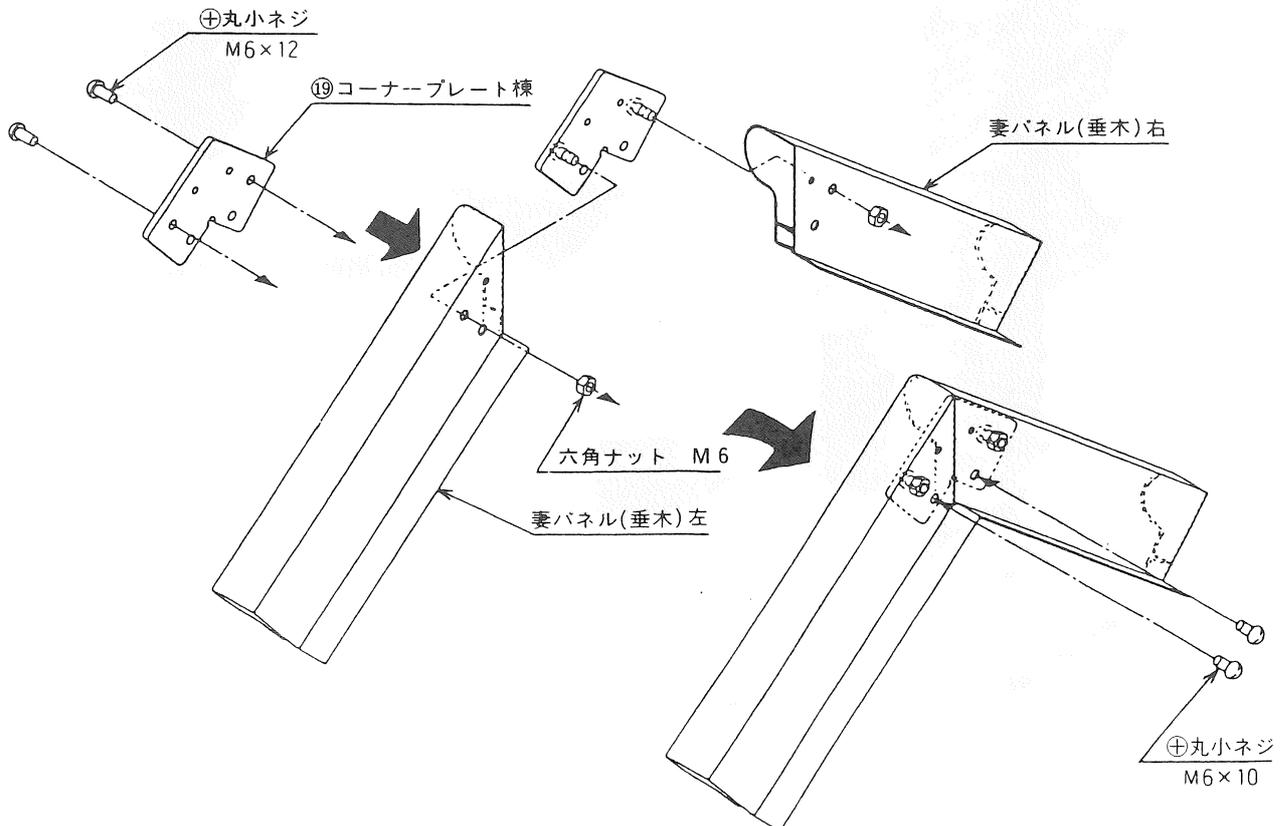
1

あらかじめ工場で組立ててある①の妻パネルを寝かした状態にして、⑱の棟用コーナープレート
を左右どちらかに丸ネジで仮止めして下さい。



※組み立てにくい場合は、コーナープレート棟に丸小ネジ (M6×12)
を2ヶ所取り付けてから組み立てて下さい。

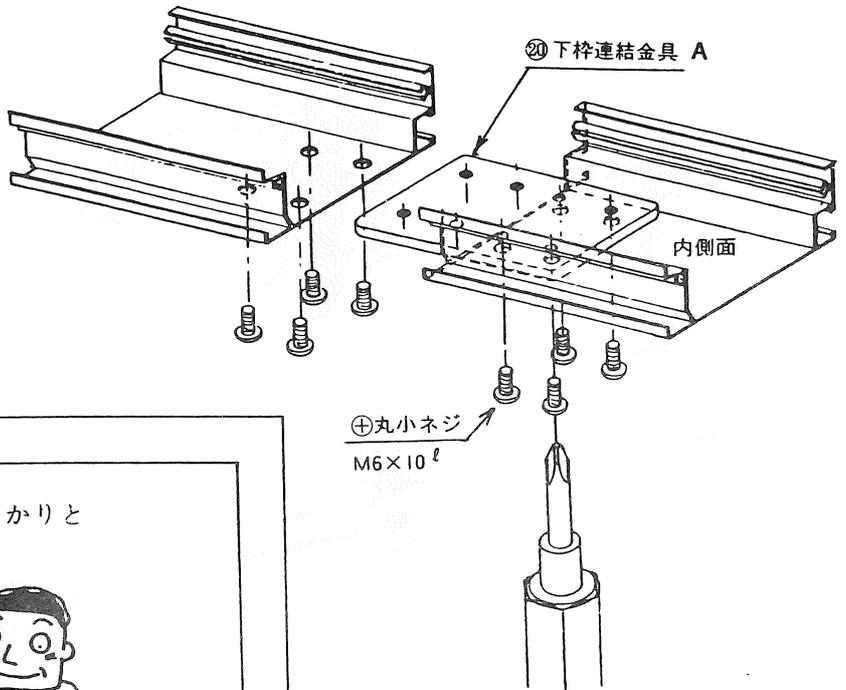
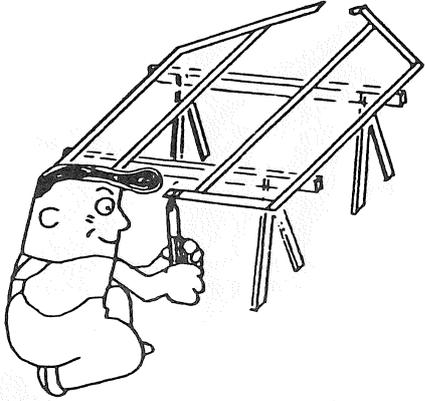
※組立補助ネジを使います。



わせます。

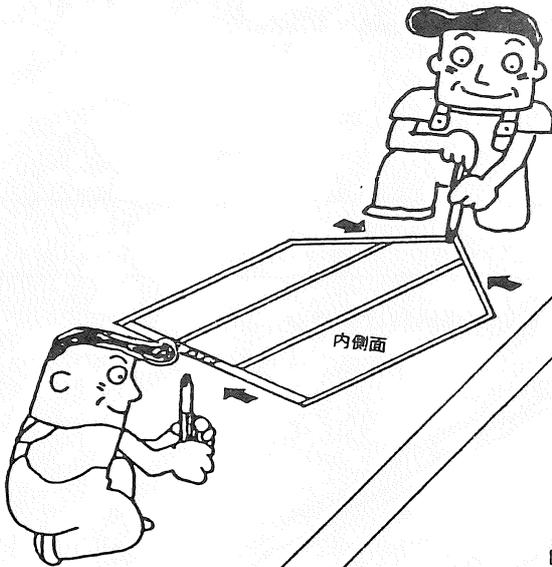
2

妻パネルの下部に⑳の下枠連結金具 A を左右どちらかに丸小ネジで仮止めして下さい。



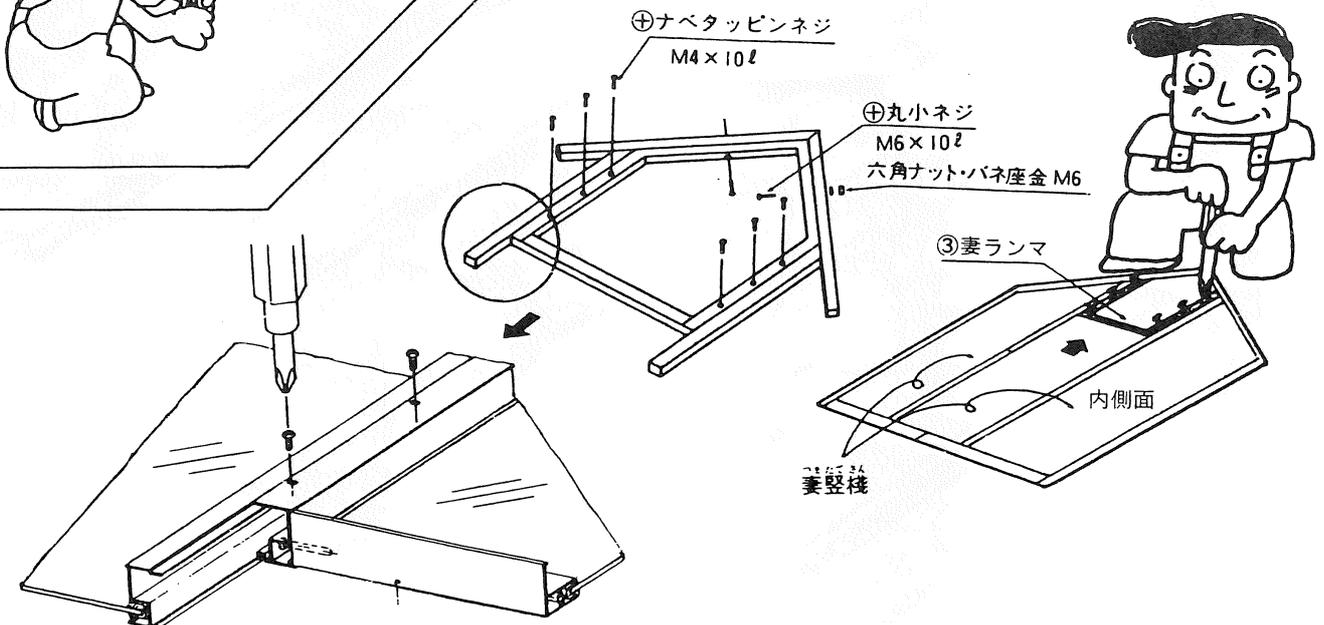
3

左右の妻パネルを合わせ、しっかりと丸小ネジで連結して下さい。



4

あらかじめ工場で組み立ててある③の妻ランマを妻パネルの内側から、ナベタッピンネジで締め付けて下さい。(妻ランマは妻縦棧の間にはさみ込み、上へ押し上げて取り付けて下さい。)

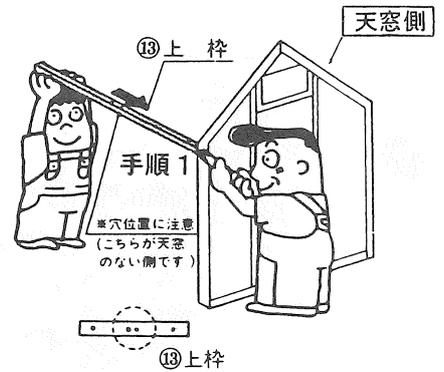
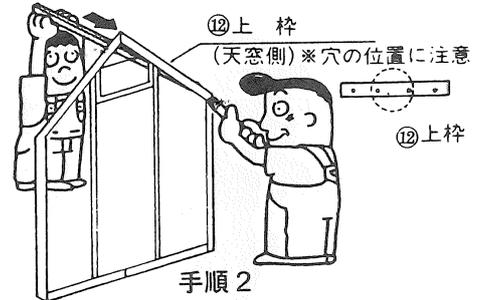
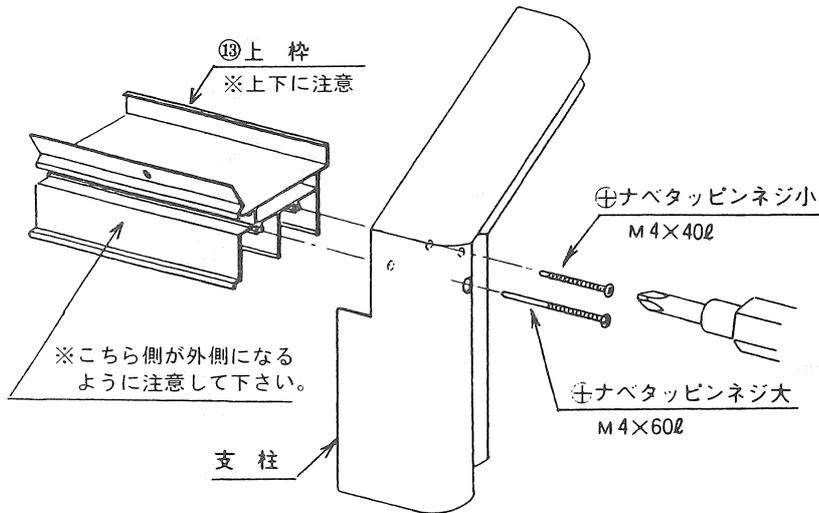


わくぶざい つま 枠部材を妻パネルに取り

1

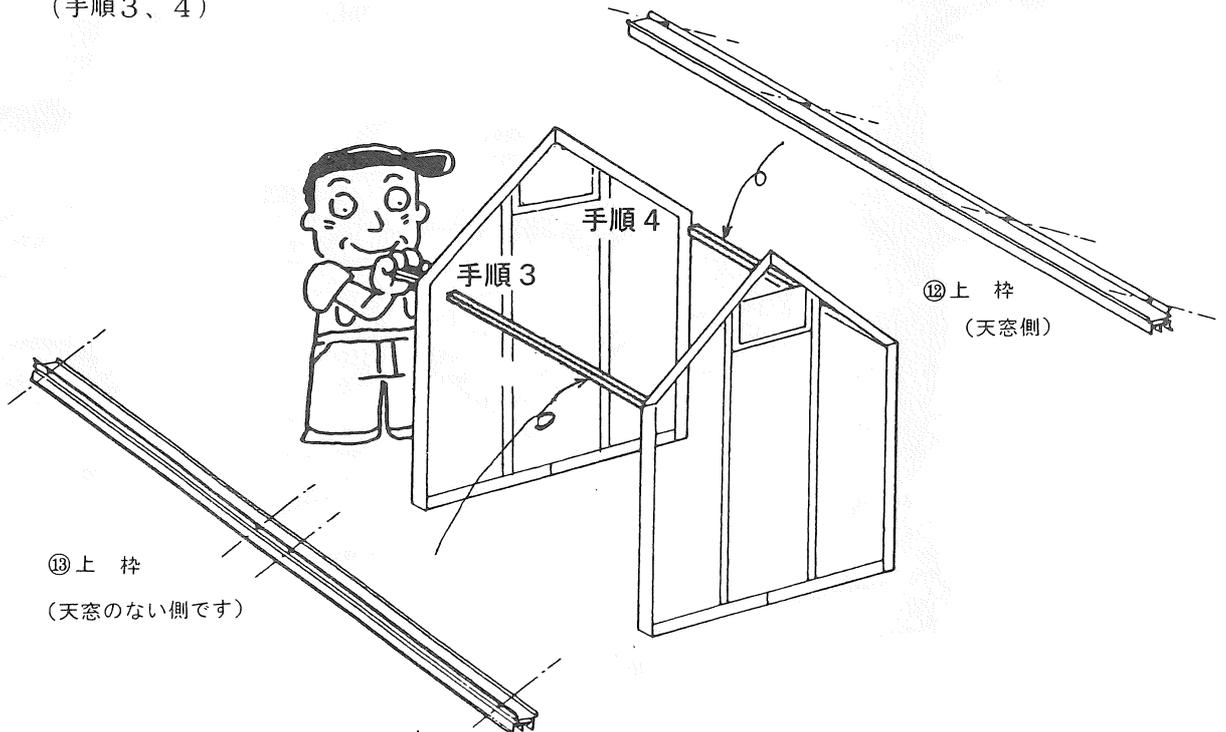
妻パネル(ドア正面)に、⑫と⑬の上枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順1、2)

＜上枠は⑪の天窗側と⑫の天窗のない側とがありますから、天窗をどちらに付けるかによって選んで下さい。＞



2

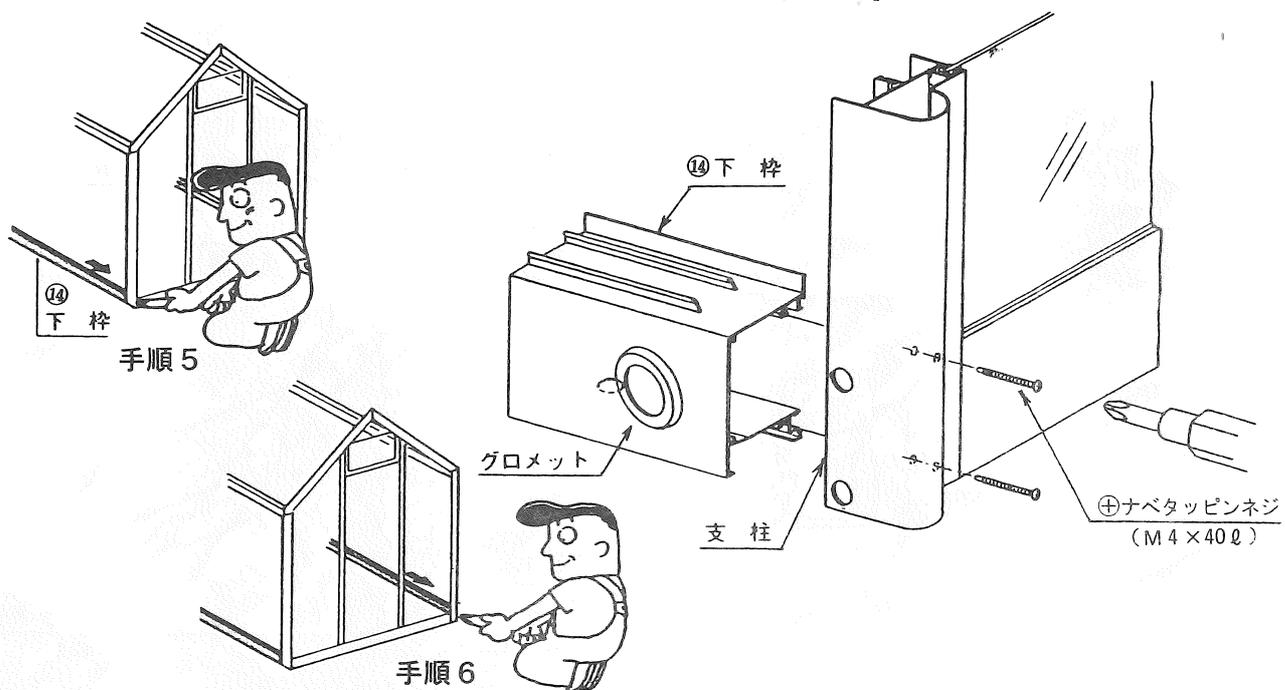
妻パネル(裏面側)に、⑫と⑬の上枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順3、4)



付けます。

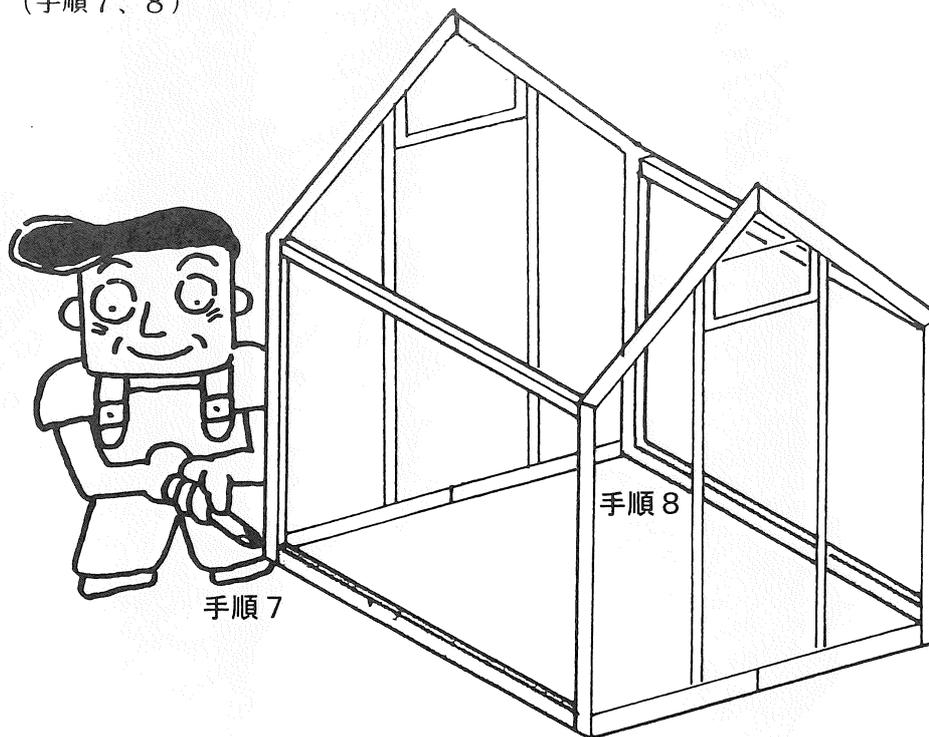
3

妻パネル(ドア付正面側)に、⑭の下枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。
(手順5、6)



4

妻パネル(裏面側)に、⑭の下枠をナベタッピンネジで締め付けて下さい。
(手順7、8)

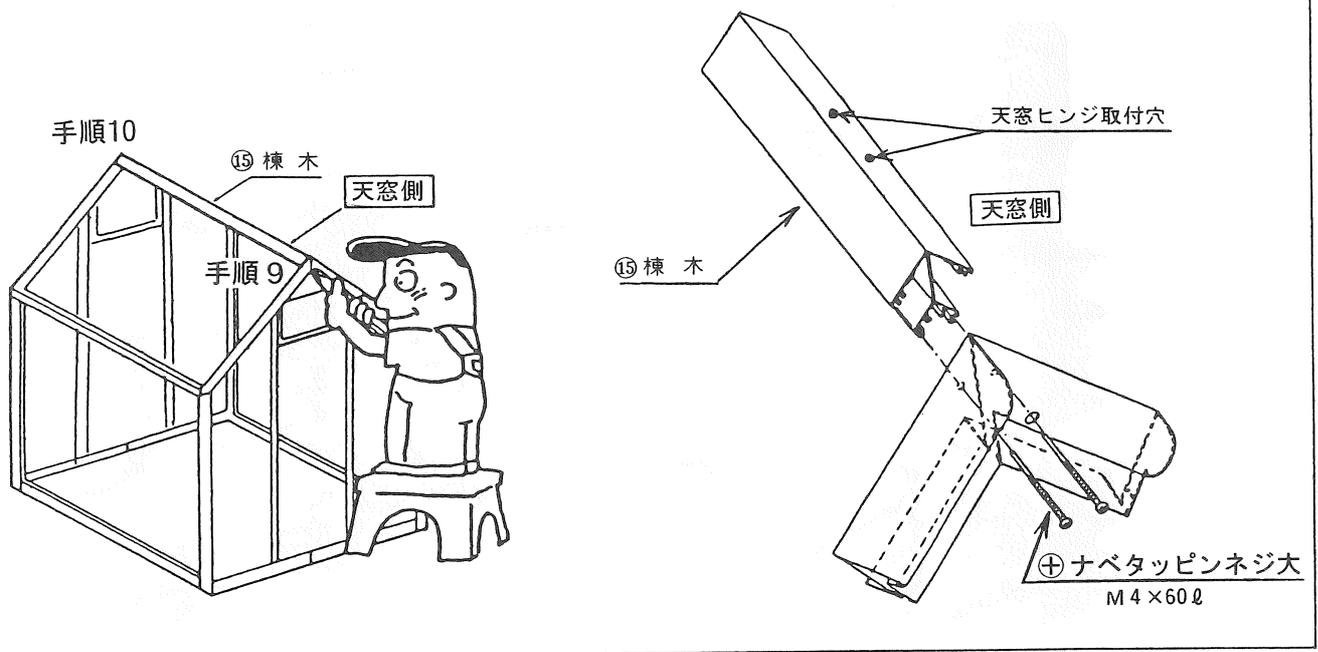


桝部材を妻パネルに取り付けます。

5

小さな台に乗って、妻パネル(正面側)と妻パネル(裏面側)に⑮の棟木をナベタッピンネジで締め付けて下さい。(手順9、10)

(天窓側に、必ず天窓ヒンジ取付穴が向いているよう注意して取り付けして下さい。)

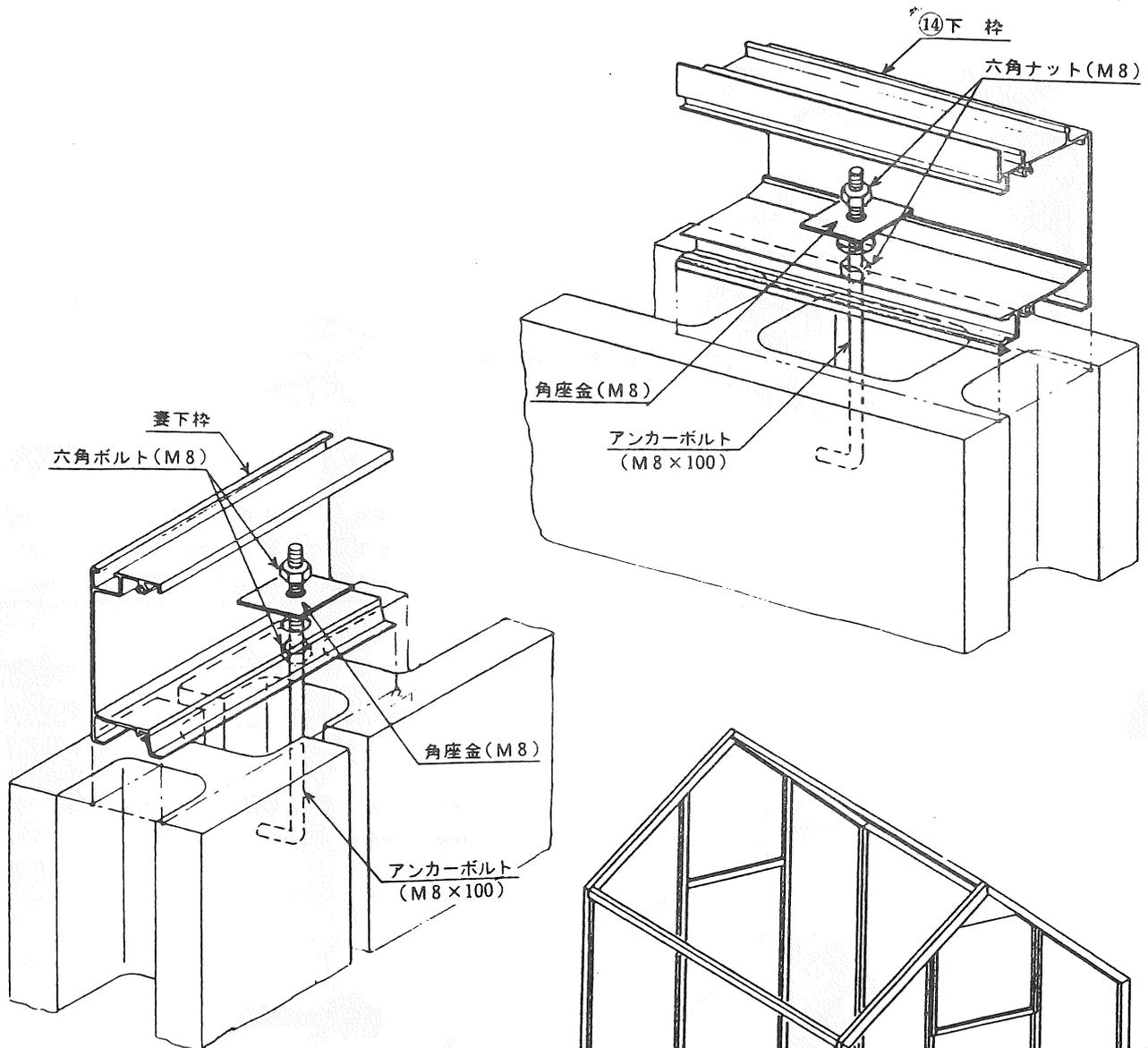


本体を地面に固定します。

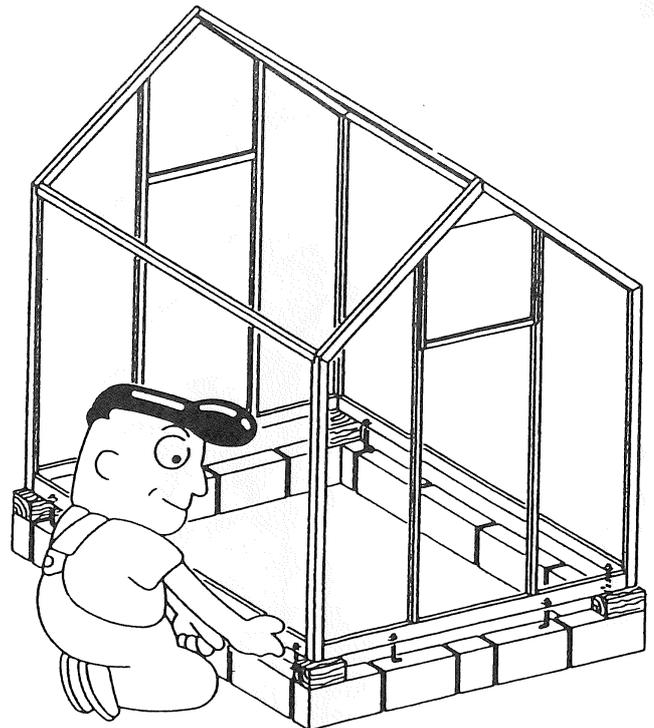
1

②のアンカーボルトを下枠に、六角ナットで取り付けて下さい。

(木片等をかませて支柱を浮かせば、作業が容易になります。)



※アンカーボルトの取り付けが済めば、木片を取りはずしA \emptyset 部材とブロック基礎のすき間をモルタルで埋めて下さい。



てんまど 屋根パネル・天窗を取り付

☆屋根パネル(天窗側)と天窗を取り付けます。

1

あらかじめ工場で組み立ててある④・⑤の屋根パネル(天窗側)を棟木に差し込んでから、下におろすように取り付けて下さい。屋根パネル⑤の黒い色のビードが付いている部分を妻パネルの垂木に載るようにして下さい。同じように、屋根パネル④のビードが付いている部分を妻パネルの垂木に載るようにして下さい。

棟木

⑤屋根パネル右 (No4ステッカー)

④屋根パネル左 (No3ステッカー)

上枠

ナベタッピンネジ M4×10ℓ

☑ 屋根パネルには取付場所を示すステッカーが貼ってあります。必ずそのステッカーが左下外側を向くように取付けて下さい。

2

④・⑤の屋根パネル(右、左)と上枠をナベタッピンネジで締めて下さい。(ゆっくりと、ネジを空回りさせない程度に。)

※屋根パネルたて桟と妻パネル屋根が平行になるようにして下さい。

No.3

No.4

平行

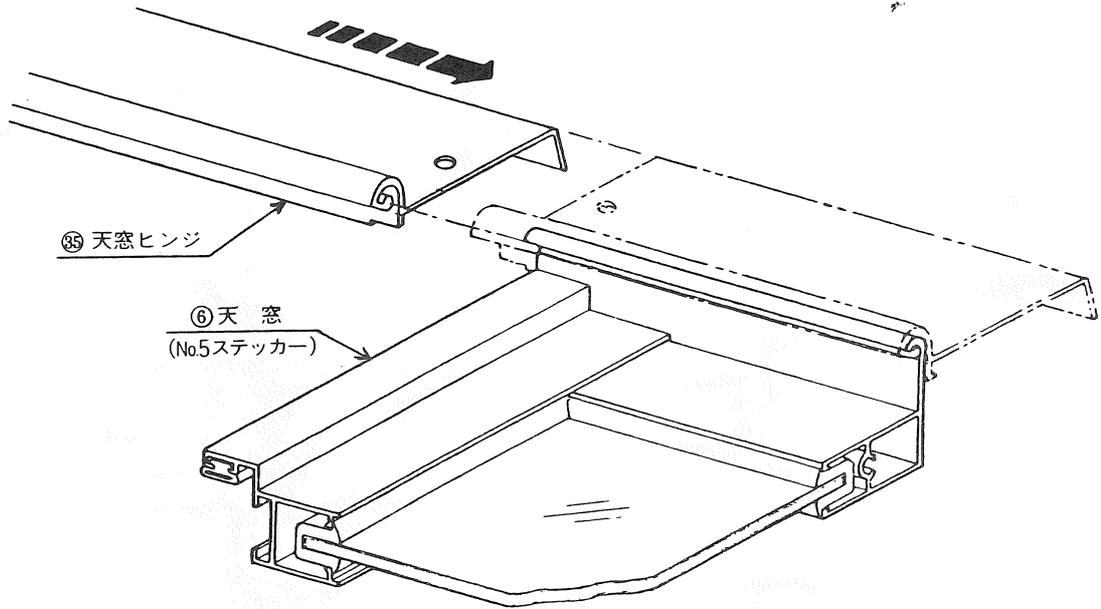
ナベタッピンネジ M4×10ℓ

けます。

3

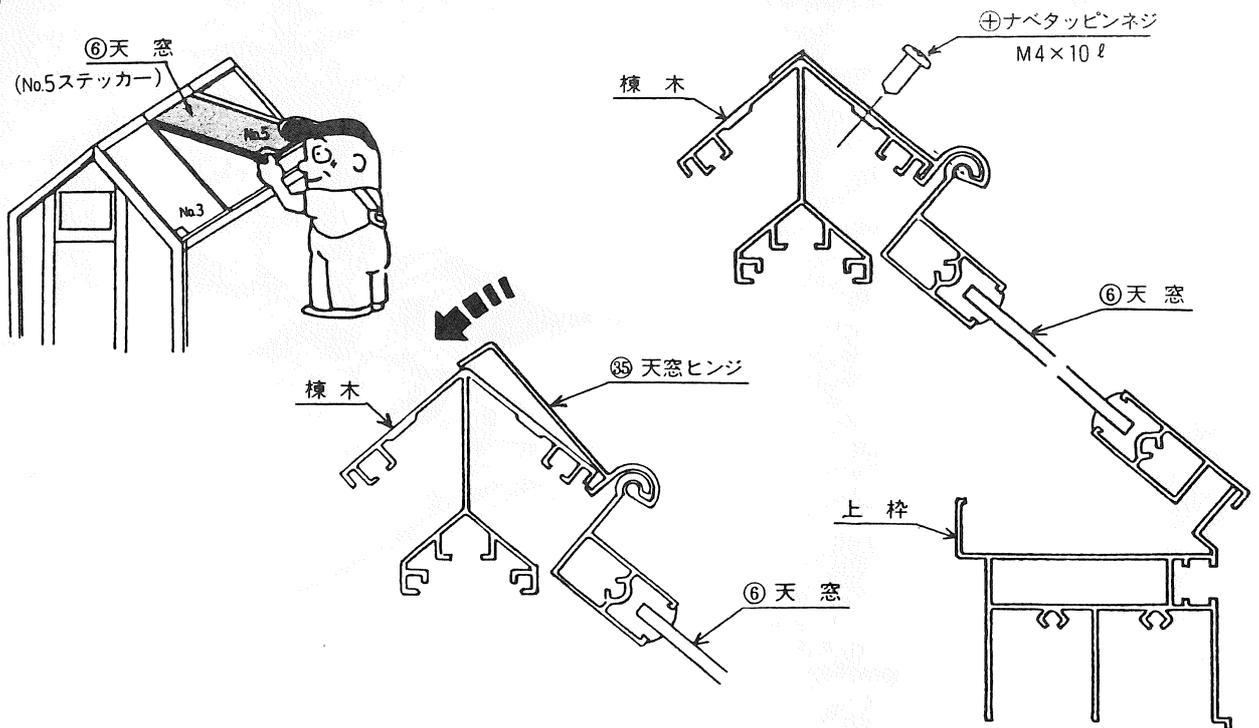
⑥の天窓に天窓ヒンジをスライドさせて差し込みます。

※高い所での作業ですので落ちないようにして下さい。



4

天窓ヒンジを下側からはさむように取り付け、ナベタッピンネジで固定します。



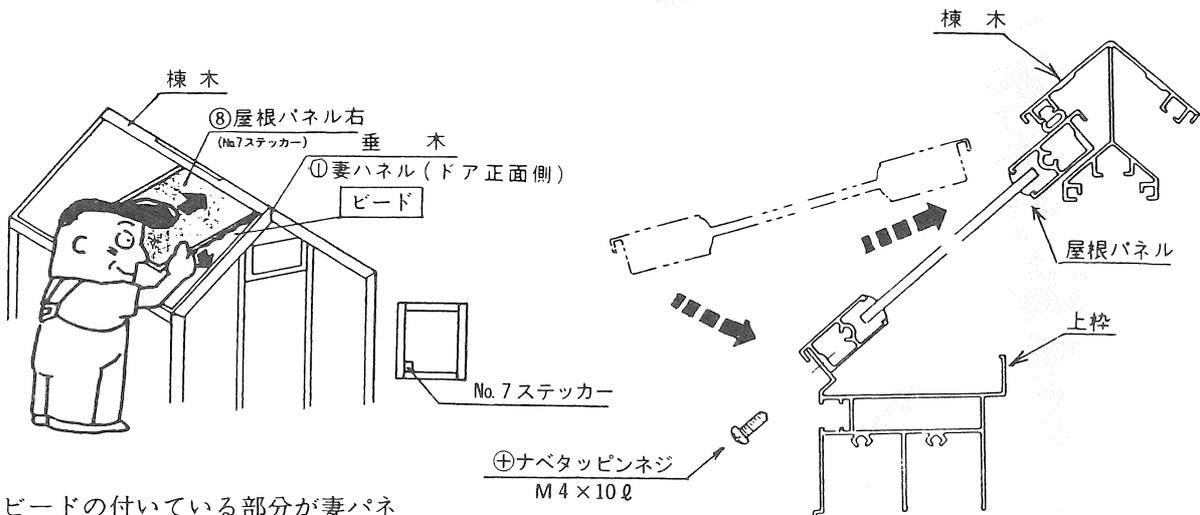
てん まど
屋根パネル・天窗を取り付

☆屋根パネル(裏面側)を取り付けます。

1

あらかじめ工場で組み立ててある⑧の屋根パネル(右)を棟木に差し込んでから、下におろし、上枠をパネルの溝にはめ込んで取付けて下さい。

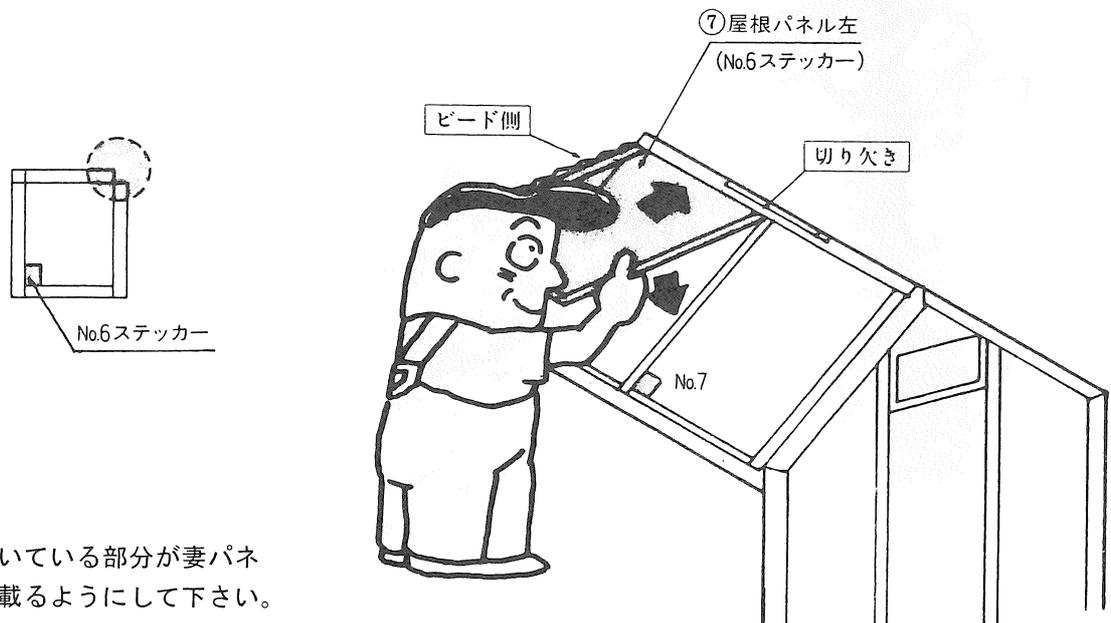
Ⓢ 屋根パネルには取付場所を示すステッカーが貼ってあります。必ずそのステッカーが左下室外側を向くように取付けて下さい。



※ビードの付いている部分が妻パネルの垂木に載るようにして下さい。

2

⑦の屋根パネル(右)を棟木に差し込んでから、下におろすように取り付けて下さい。
(屋根^{はてま}に切り欠きのある方が、⑦の屋根パネル左です。)

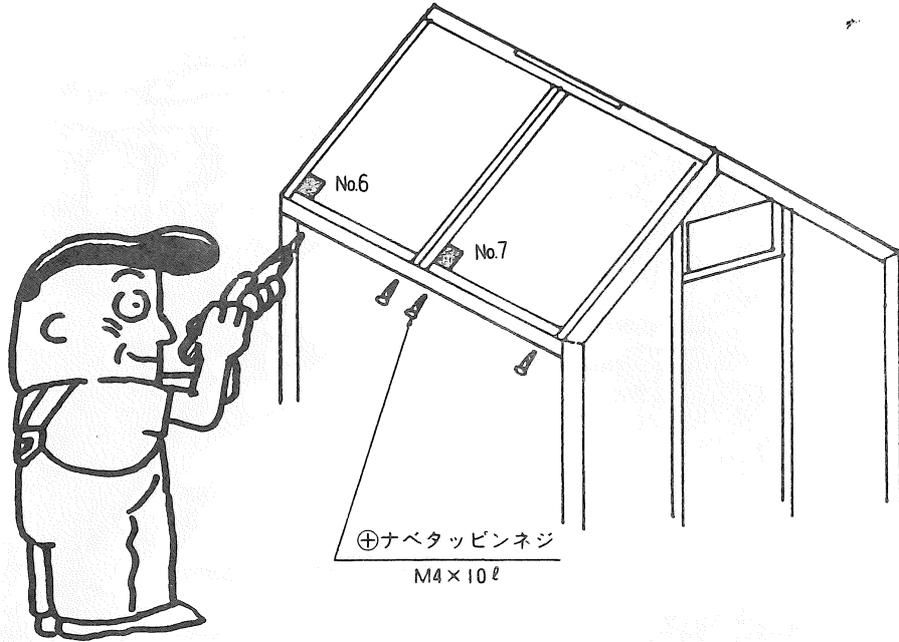


※ビードの付いている部分が妻パネルの垂木に載るようにして下さい。

けます。

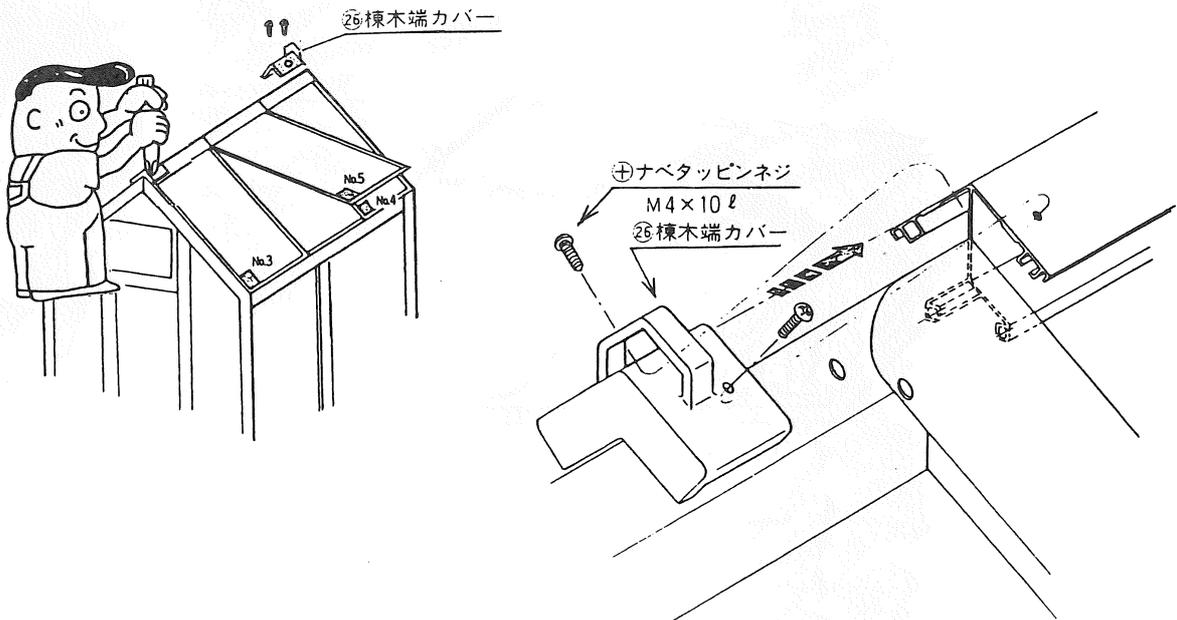
3

⑦と⑧の屋根パネルと上枠をナベタッピンネジで締めて下さい。
(ゆっくりと、ネジを空回りさせない程度に。)



4

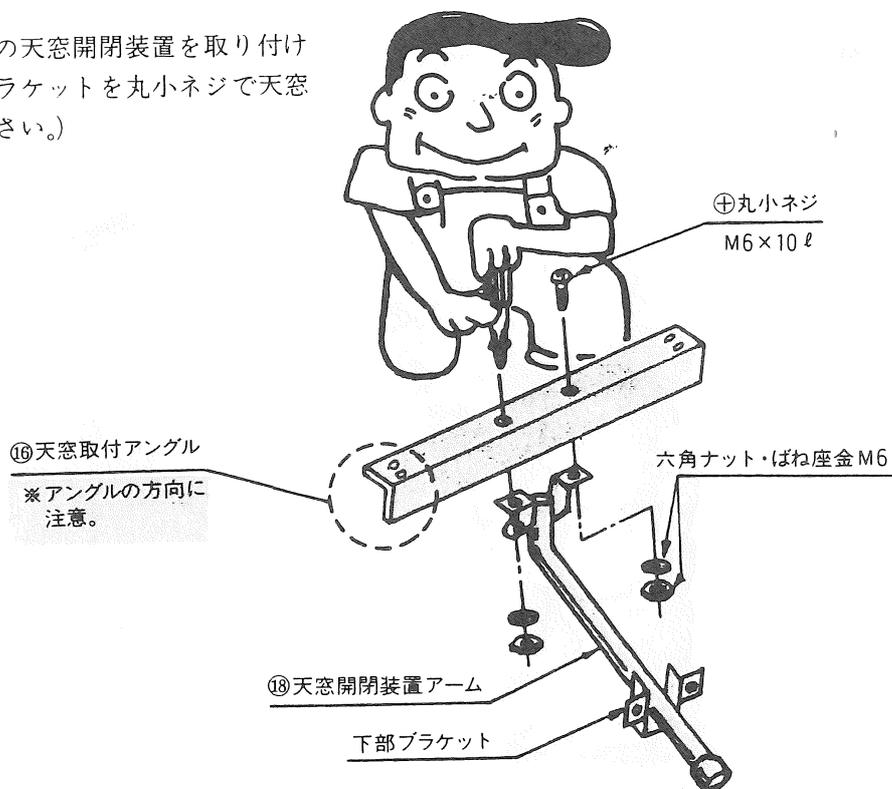
屋根パネルを全て取り付けてから、㉔の棟木端カバーを両側に取り付けて下さい。



てん まど 天窗開閉装置を取り付け

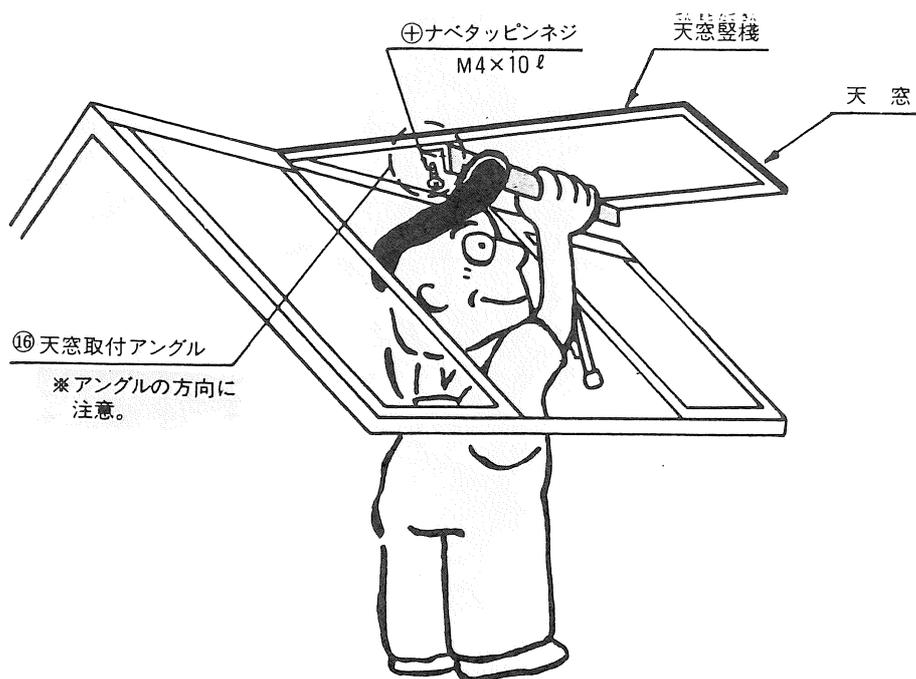
1

⑬の天窗取付アングルに、⑭の天窗開閉装置を取り付けます。(アームに付いた上部ブラケットを丸小ネジで天窗取付アングルに取り付けて下さい。)



2

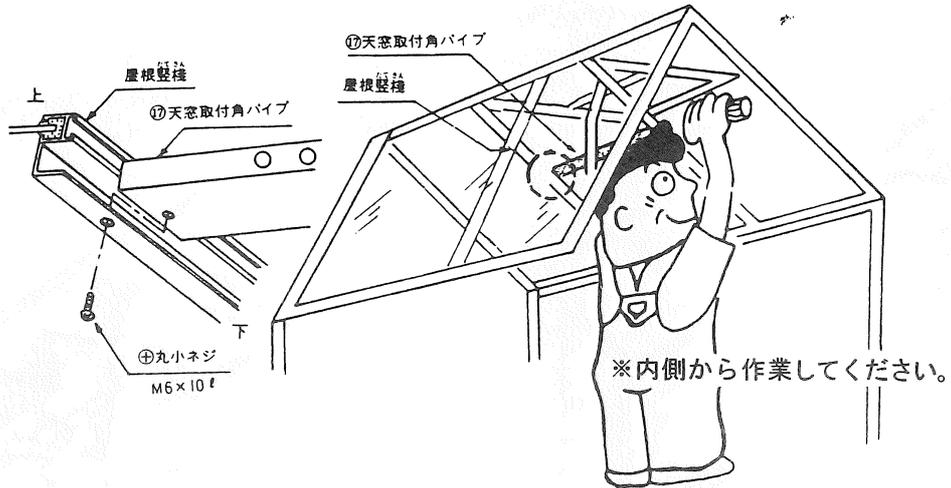
⑬の天窗取付アングルを天窗の^{天窓縦棧}天窓縦棧にナベタッピンネジで取り付けて下さい。



ます。

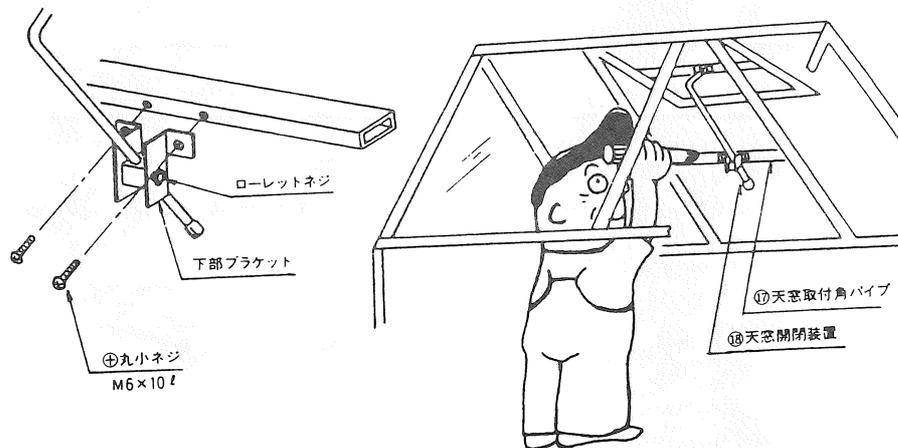
3

⑰の天窓取付角パイプを屋根パネルの屋根^{たてきん}縦棧に丸小ネジで取り付けて下さい。この時、角パイプの中央に開けられた穴が棟側になるようにして下さい。



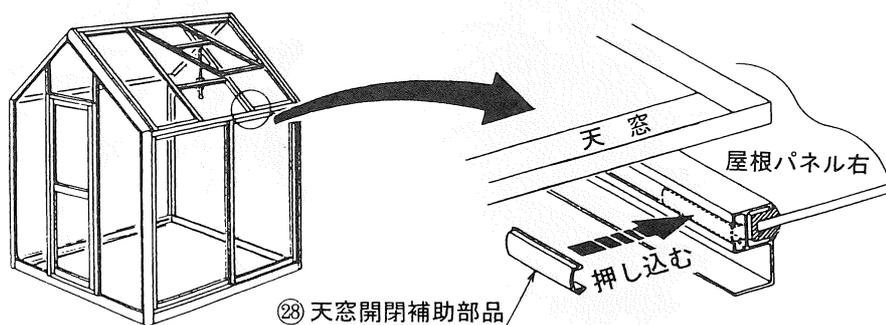
4

⑱の天窓開閉装置に、下部ブラケットに付いているローレットネジをゆるめ、下部ブラケットを⑰の天窓取付角パイプに丸小ネジで取り付けて下さい。



5

屋根パネル天窓側下部(左・右)に、⑳天窓開閉補助部品を押し込むように取り付けて下さい。



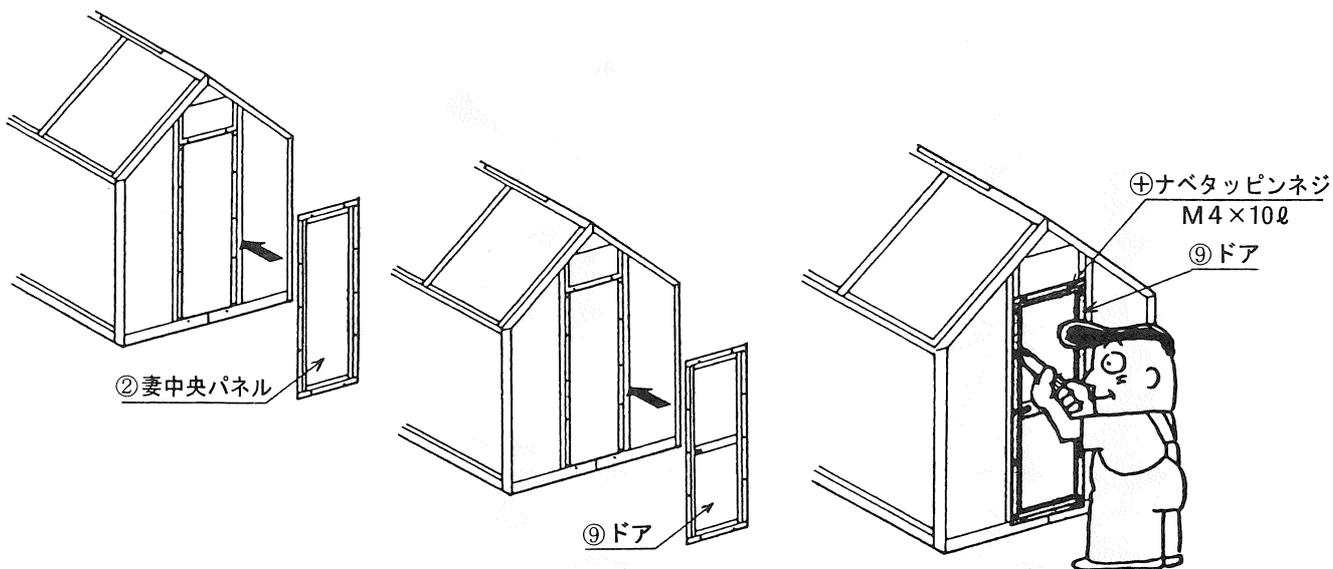
STEP6

ドア枠と妻中央パネルを

※出入口が引き戸仕様の場合、妻引き戸梱包の中の組立説明書をお読みください。

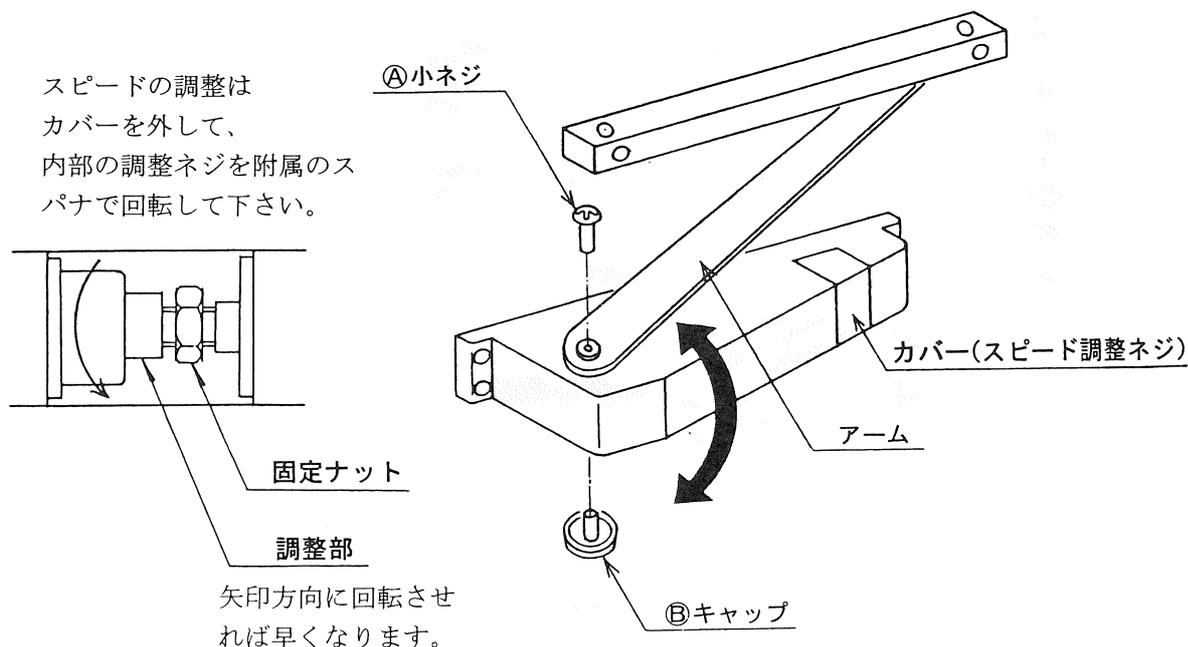
1

あらかじめ工場で組み立ててある⑨のドアと②の妻中央パネルを妻パネルにはめ込み、ナベタッピンネジで枠に締め付けて下さい。 ゆっくりとネジを空回りさせない程度に。
(ドアは、右開きにも左開きにもできます。)



2

ドアクローザーは右開きドア用にセッティングしています。
左開きの場合は、④小ネジと⑥キャップを外して、アームを反対側(B側)に付け替えて下さい。



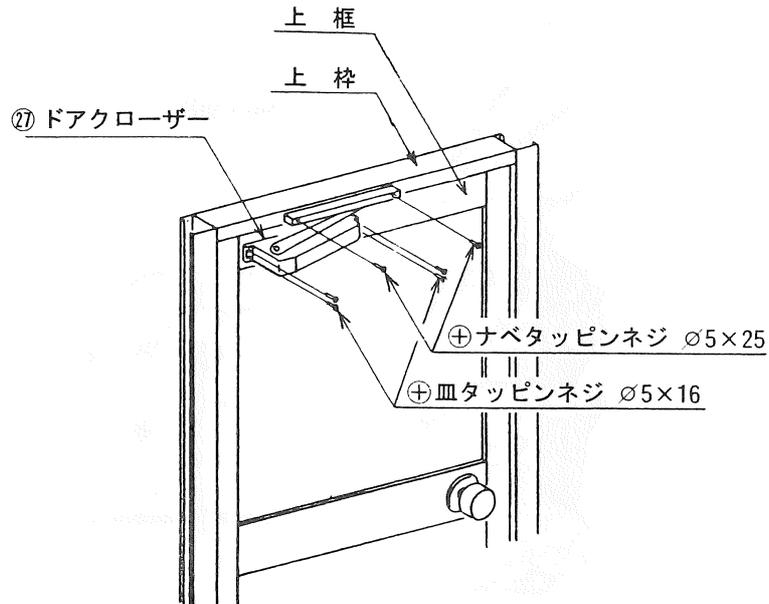
取り付けます。

3

ドアを閉めて内側から作業して下さい。

⊕ナベタッピンネジ ϕ 5×25でレールを固定して下さい。

次に⊕皿タッピンネジ ϕ 5×16でドアクローザー本体を上框に押し付けながら取り付けして下さい。

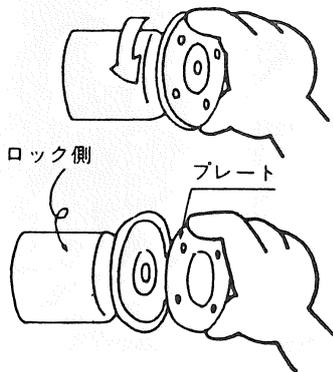


4

㉑のドアロックを、セットになっている取り付け工具を使って取り付けして下さい。

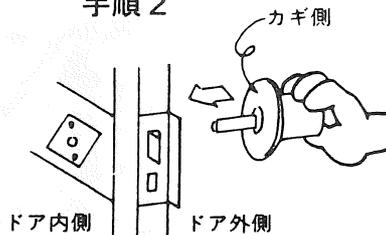
(手順1、2、3、4)

手順1



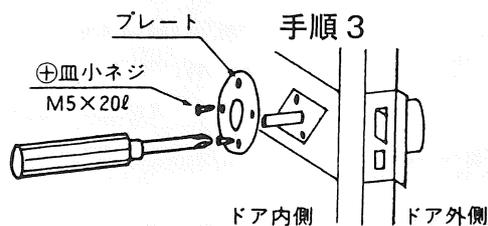
手順1：あらかじめロック側についているプレートを、手で回してはずして下さい。

手順2



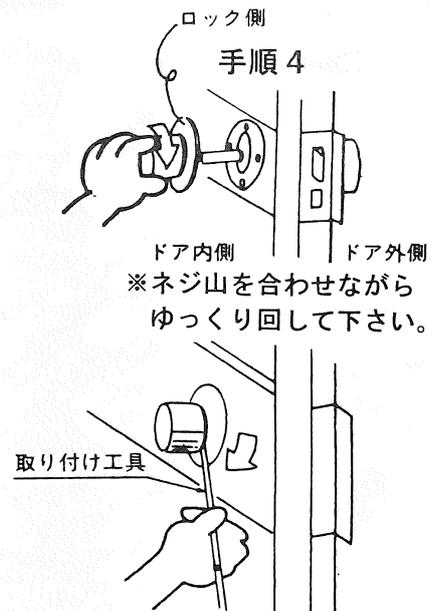
手順2：カギ側をドアにあけてある穴に差し込みます。

手順3



手順3：内側からプレートを皿小ネジでドアに締め付けます。

手順4

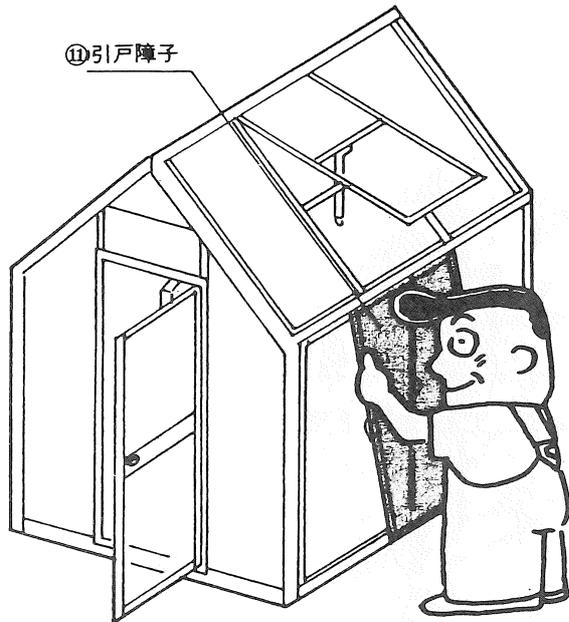


手順4：ロック側をある程度まで手でねじ込んでから専用の取り付け工具で本締めして下さい。

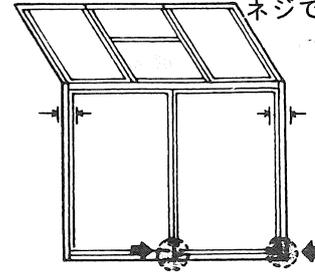
STEP7

引戸障子を取り付けます。

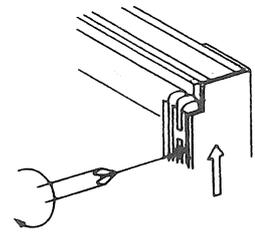
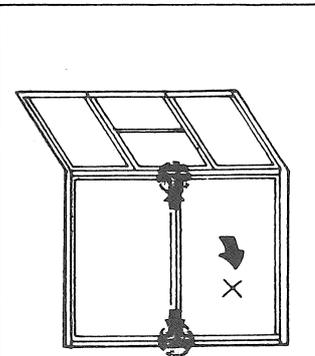
⑪の引戸障子をクレセント(カギ)が内側になるように、上枠に差し込みながら取り付けて下さい。
 <反対側も同じように、取り付けて下さい。>



※STEP8のブレースセットを取り付けてからすきま調整
 ネジで引戸障子の高さ調整をして下さい。



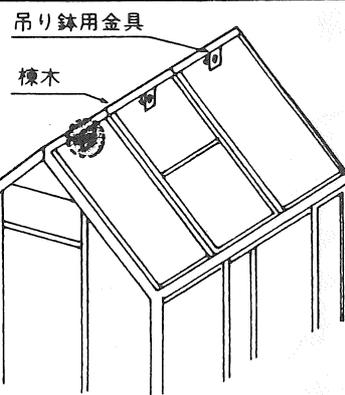
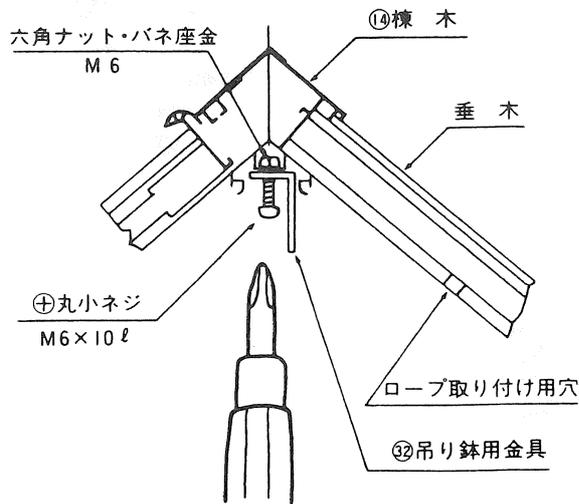
⑪引戸障子の下部にある戸車の高さを⊕ドライバーにより調節し、引戸障子と支柱の間隙をなくして下さい。



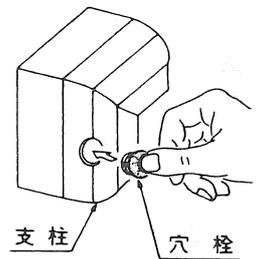
⑪引戸障子の中框(室内側)の上下に、障子外れ止めが付いていますので、それぞれ、上枠および下枠に引っ掛けて下さい。

その他の部品を取り付けます。

吊り鉢用金具の取り付け



穴栓の取り付け



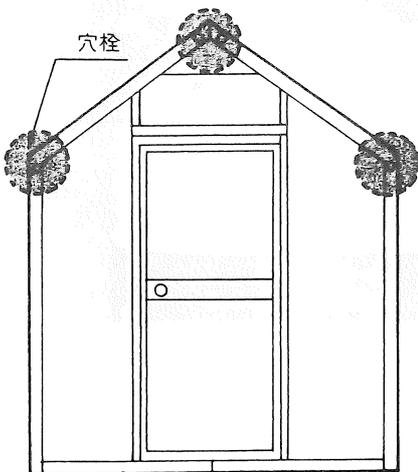
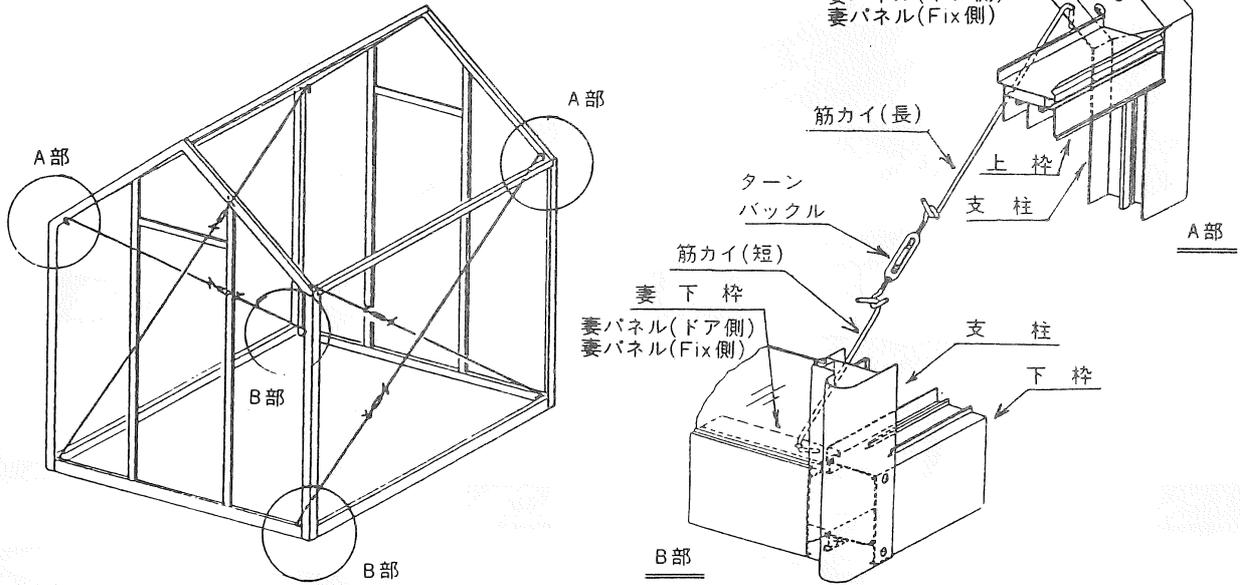
※⑫吊り鉢用金具を丸小ネジで棟木に取り付けて下さい。⑬棟木の下側両端の切り欠き部から図の要領で差し込み適当な位置でネジを締めて下さい。

※垂木の中央に明いている穴にロープを引っかけて、吊り鉢用に利用して下さい。

ブレースセットを取り付けます。

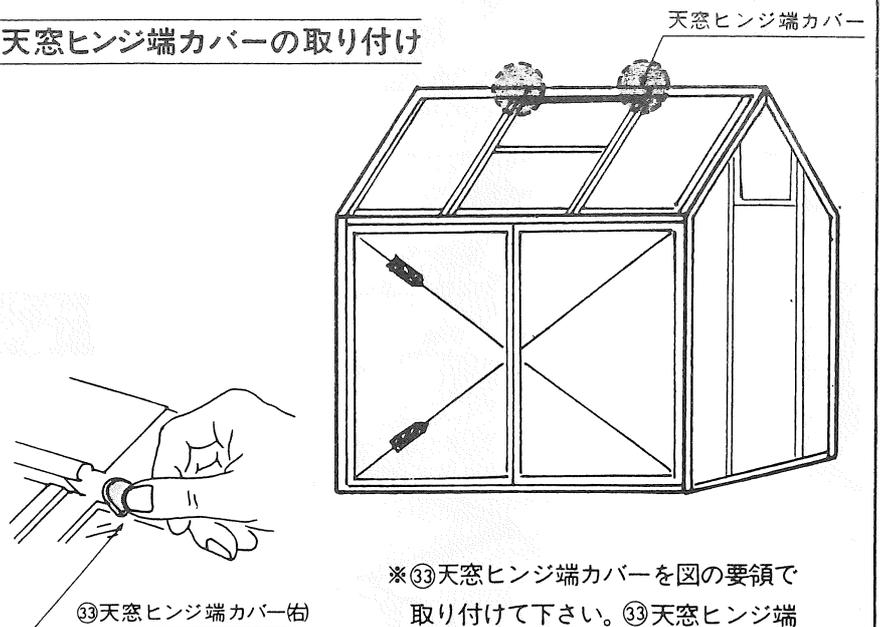
④のブレースセットは、垂木と妻木枠の穴に引っ掛けて取り付けて下さい。
 ターンバックルについているボルトをできるだけ長く伸ばすと取り付け作業が容易になります。
 取り付け後は、締めて下さい。※①の妻パネル柱と④の引戸障子がたて棧が平行になるようにターンバックルを締めて下さい。

〈反対側も同じように、取り付けて下さい。〉



穴栓を支柱の穴に取り付けて下さい。
 また、垂木の穴にも取り付けて下さい。
 取り付け穴は合計8ヶ所あります。

天窓ヒンジ端カバーの取り付け

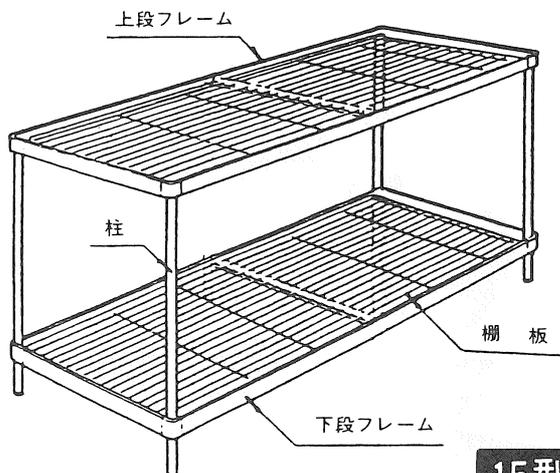


※③天窓ヒンジ端カバーを図の要領で
 取り付けして下さい。③天窓ヒンジ端
 カバーは切り込みの位置により、(右)
 用と(左)用があります。

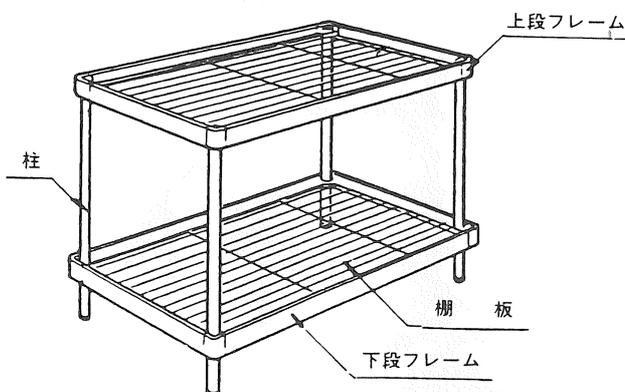
オプションの園芸棚を組

正しく組み立てていただくために、手順に従って組み立て作業を行ってください。

① 本体(完成図)



15型



08型

② 梱包数量表

15型

幅 683
×
長さ 1482
×
高さ 900mm

柱	数量4	上下段フレーム数量2
棚板	数量4	M5×6ナベ小ネジ
		数量8

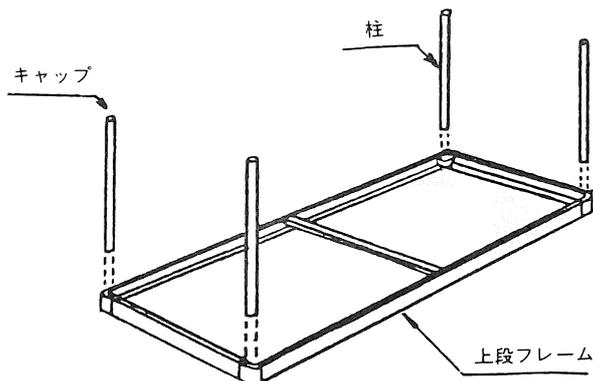
08型

幅 503
×
長さ 787
×
高さ 900mm

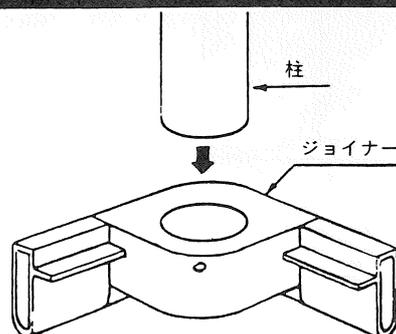
柱	数量4	上下段フレーム数量2
棚板	数量2	M5×6ナベ小ネジ
		数量8

③ 柱と上段フレームの仮組み

上段フレームをひっくりかえして平らな面に置き、ジョイナーにキャップを上にした柱を差し込んで下さい。



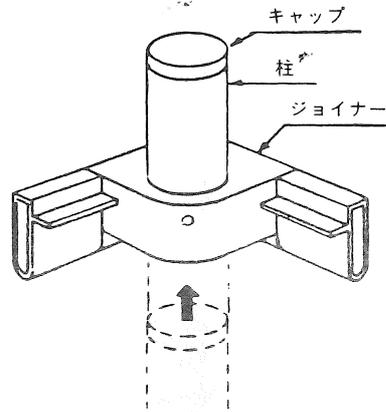
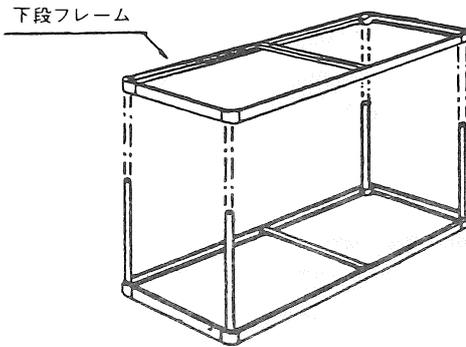
ここからの組み立て手順は15型で行なっていますが、08型も同手順で組み立てて下さい。



立てます。(その1)

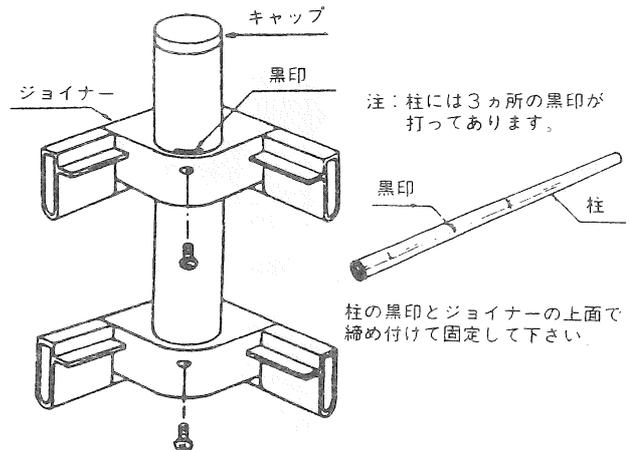
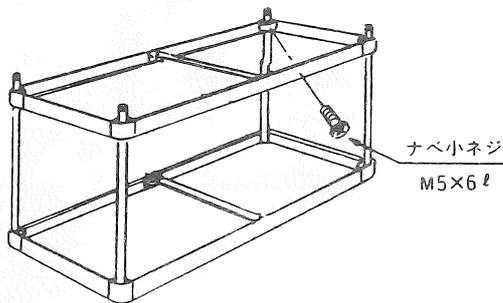
④ 柱と下段フレームの仮組み

下段フレームをひっくりかえして、ジョイナーに柱を通します。



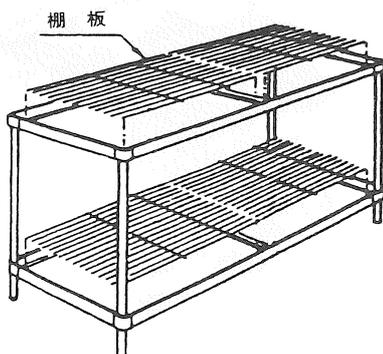
⑤ 上段フレーム・下段フレームと柱の固定

フレームと柱をM5×6㎝ナベ小ネジで締め付けて下さい。(8カ所)



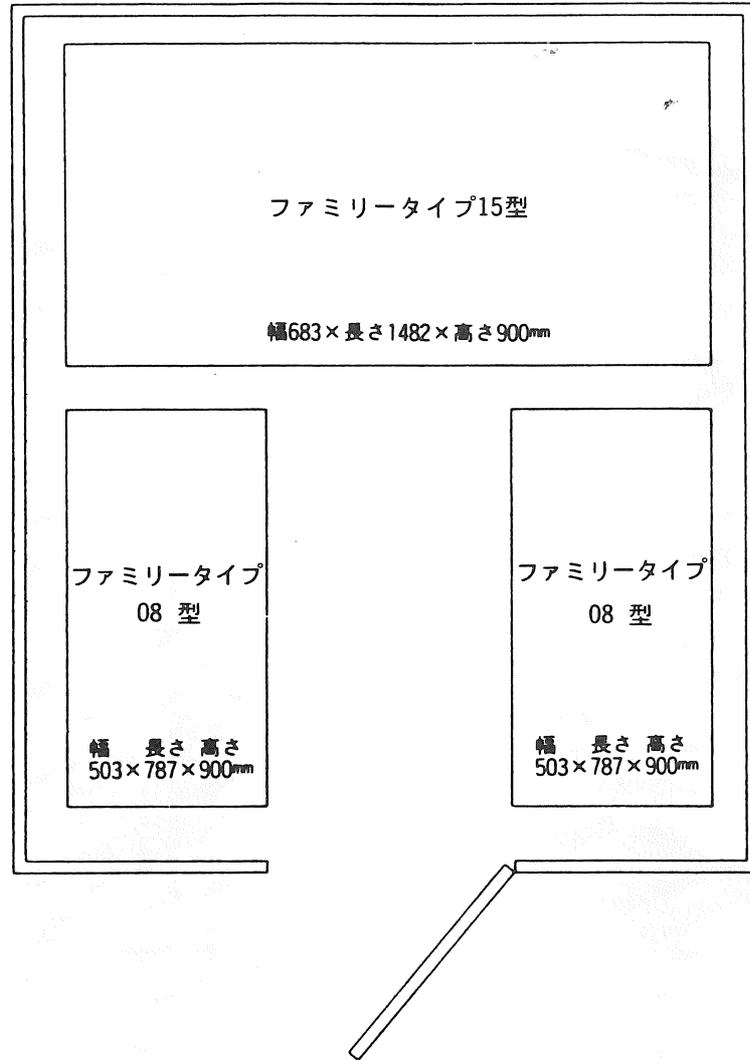
棚板の設置

組みあがりました本体をひっくりかえして棚板を置き、完成です。

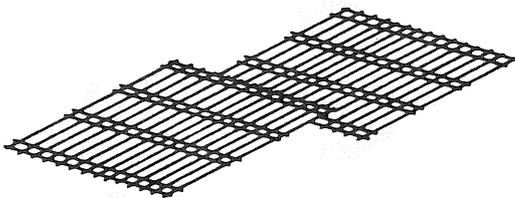


オプションの取り付け方。(そ

園芸棚設置例

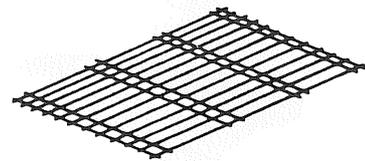


15型用棚板



- 寸法：W725.5×L654
- スチールバー（樹脂コーティング）
- 4枚入り

08型用棚板



- 寸法：W757×L474
- スチールバー（樹脂コーティング）
- 2枚入り

の2)

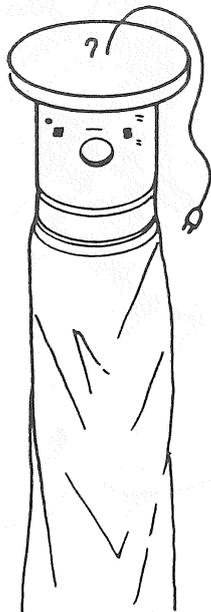
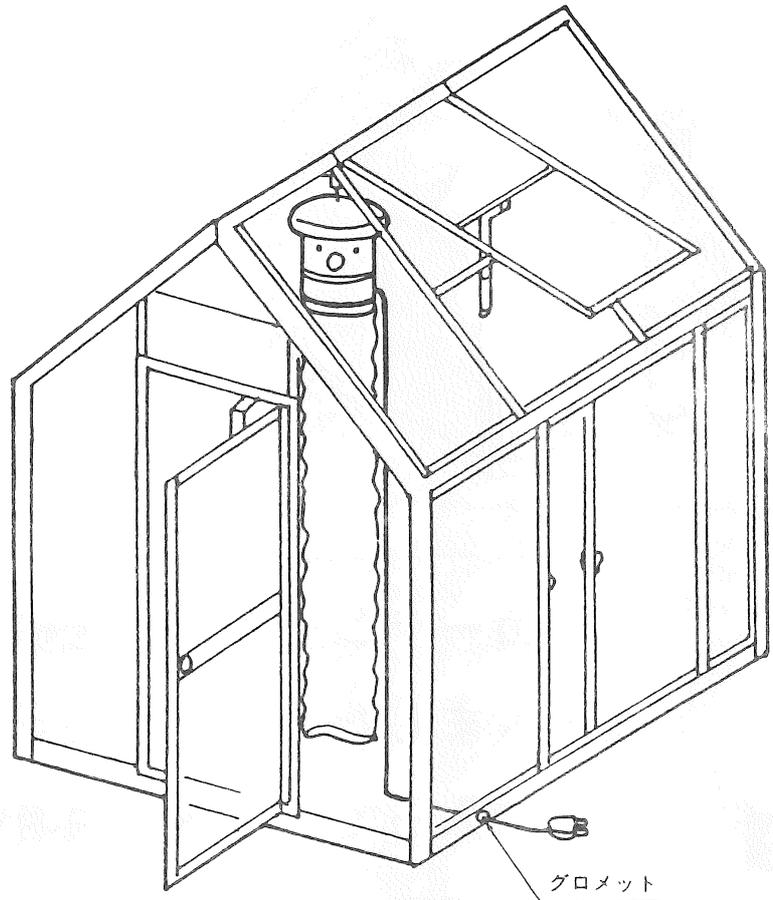
電気温風機SF1003T型

吊り鉢用金具にぶらさげ、下枠のグロメットからコンセントコードを出して下さい。



30cm~50cm

※ダクトは地面から30~50cm
あくようにして下さい。



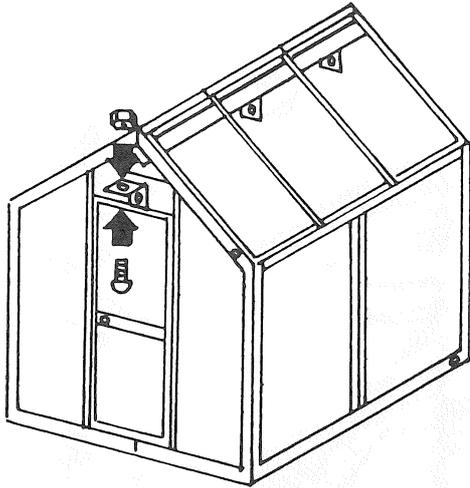
- 寸法：φ210×H300
- 定格負荷：AC100V
- 定格周波数：50/60Hz
- 消費電力：1000/500W
- 過熱防止温度ヒューズ付(120℃)
- サーモスタット内蔵式(5~40℃)
- 付属部品付

電気温風機SF1003T型については取扱説明書をよく読んでから使用して下さい。

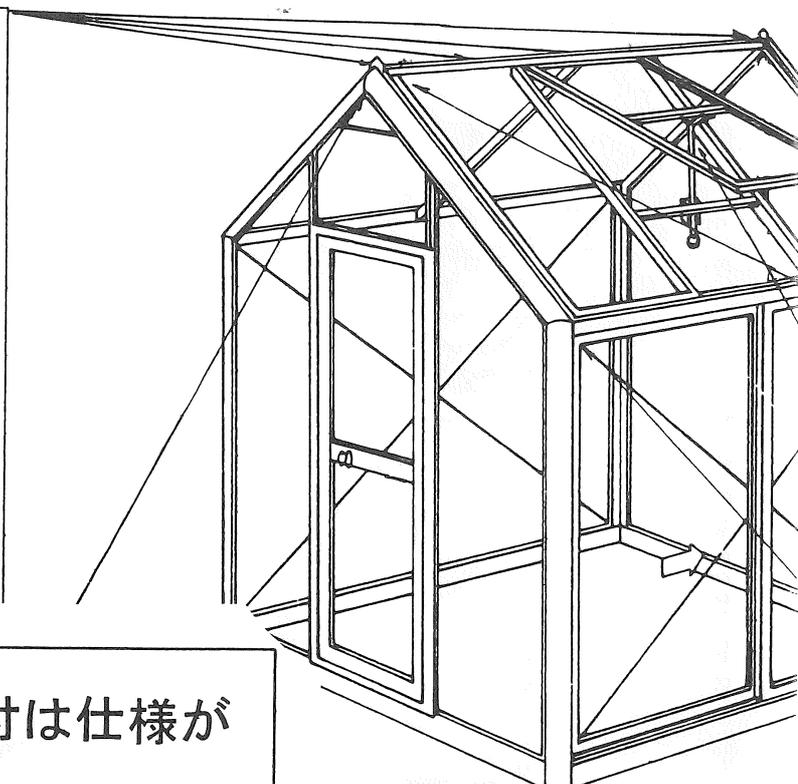
日除カーテン 番号順に取り付けて下さい。

※内側に日除けカーテンを取り付けます。

1 吊り鉢用金具の取り付け



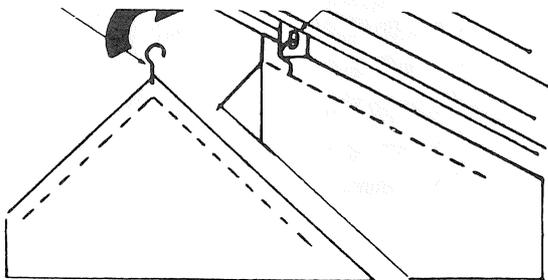
※吊鉢田全目を種木の下側の両端にある切り込みから
2、
棟
さ



日除カーテンの取付は仕様が
変わりましたのでオプション
梱包に入っている取付説明書
を御参照下さい。

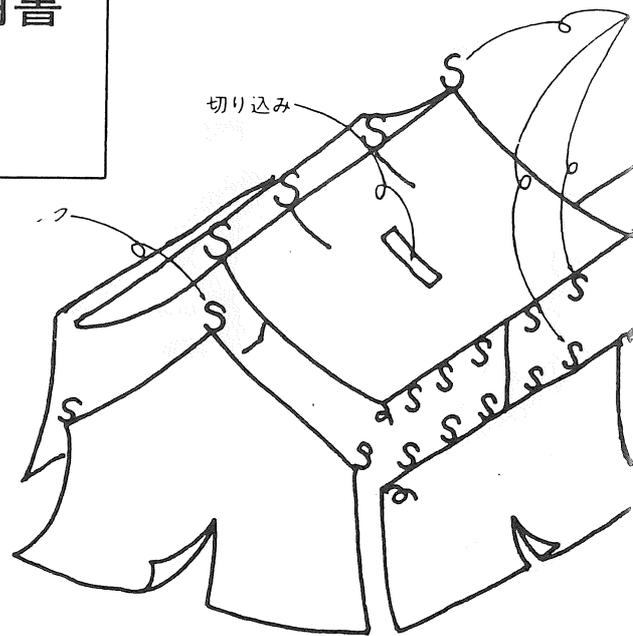
5

カー



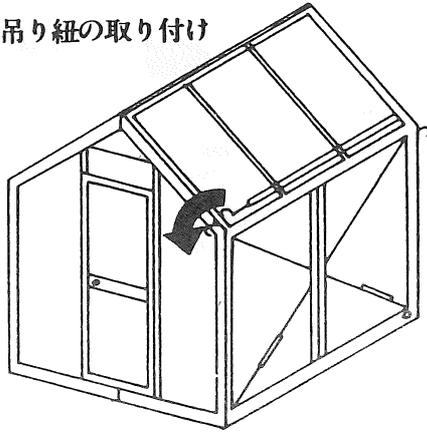
※カーテンフックを吊り鉢用金具に引っかけて下
さい。両肩部のカーテンフックは吊り紐に取り
付けて下さい。切り込みのある方が(ドア側)
です。

切り込み



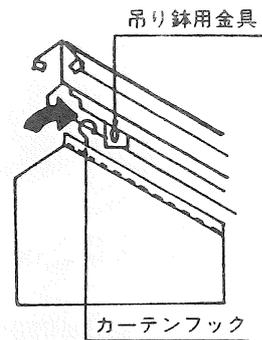
の3)

2 吊り紐の取り付け



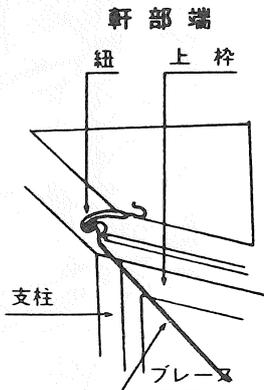
※垂木のブレース取り付け用穴に吊り紐を2本引っ掛けて下さい。

3 日除け(棟部)の取り付け

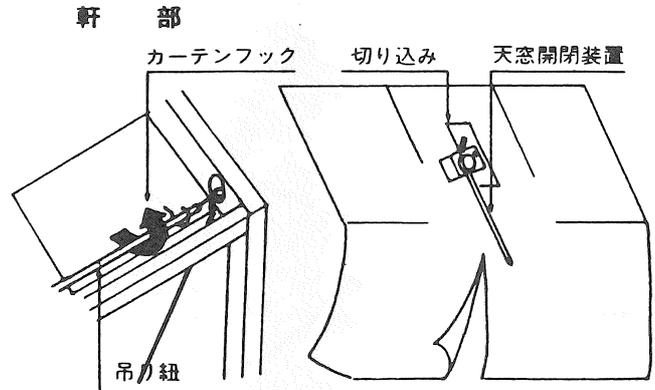


※カーテンフックを4ヶ所、吊り鉢用金具に引っ掛けて下さい。

4 日除け(軒部)の取り付け



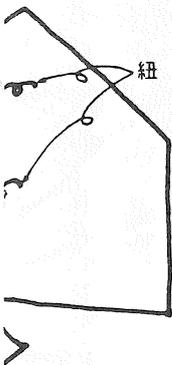
※端部の紐をブレースの先端に結んで下さい。



※カーテンフックを5ヶ所、吊り紐に引っ掛けて下さい。

※天窗開閉装置は切り込みから室内側に入れて下さい。

カーテンフック

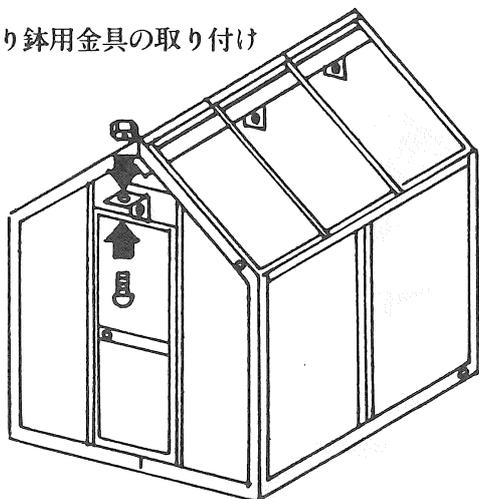


- 寸法：W1,560×H2,150×D1,560
- ダイオネット 遮光率 60～65%
- 取付部品付

オプションの取り付け方。(そ

保温カーテン 内側に保温カーテンを取り付けます。番号順に取り付けて下さい。

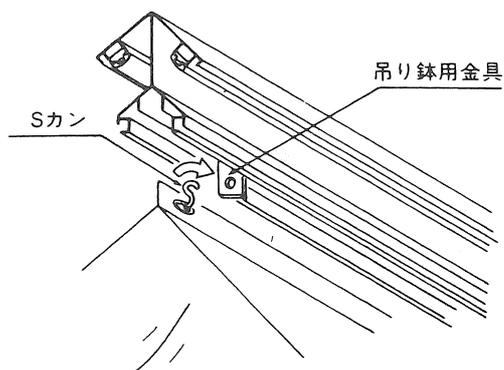
1 吊り鉢用金具の取り付け



※吊鉢用金具を棟木の下側の両端にある切り込みから2ヶづつ差し込んで下さい。

棟木
下側

2 棟部の取り付け



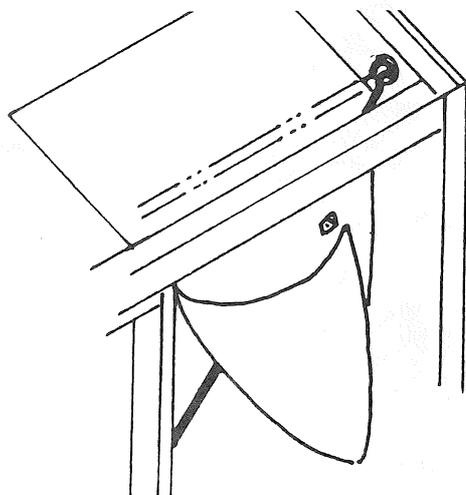
吊り鉢用金具

Sカン

1 鉢用金具に引っ掛けて下さい。

保温カーテンの取付は仕様が
変わりましたのでオプション
梱包に入っている取付説明書
を御参照下さい。

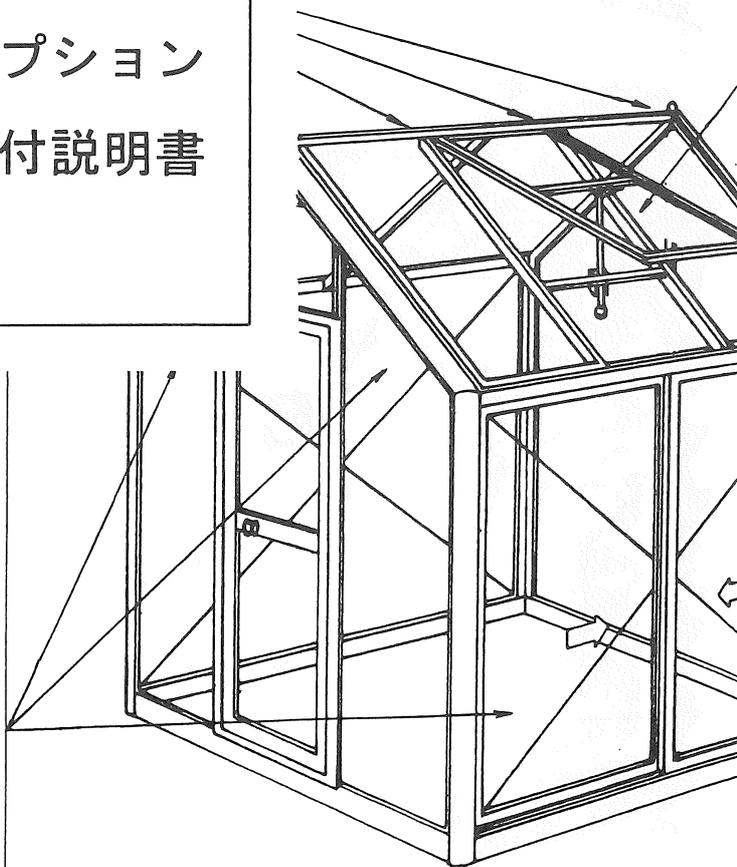
5



障子

マジック
テープ

※鉢の出し入れの際に便利のように、めくり上げた保温カーテンを予備のマジックテープを使って止めて下さい。ドア側も同じ要領で取り付けして下さい。



の4)

3 天窓部の取り付け

マジックテープで止める

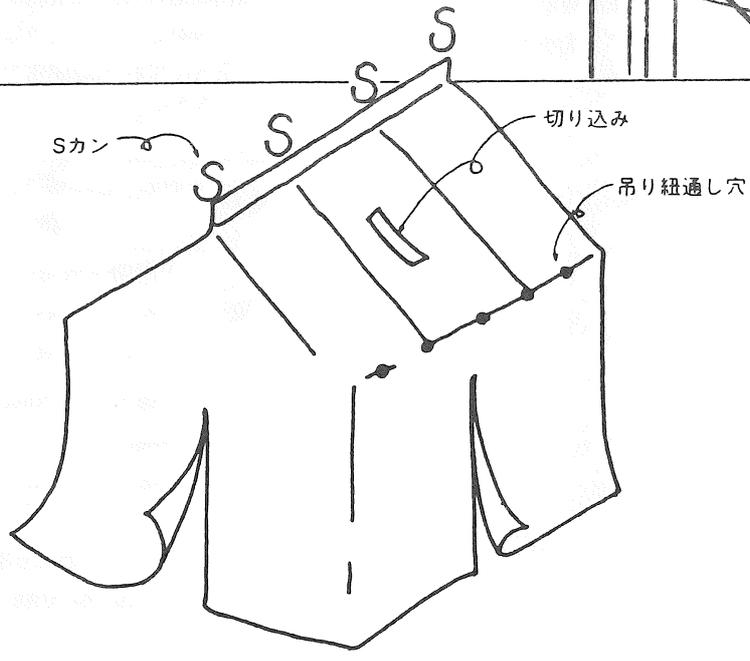
マジックテープ

※天窓開閉装置は切り込みから室内側に入れて下さい。

※天窓を開けた時には、予備のマジックテープを使って、フタを天窓と反対側の屋根面に取り付けて下さい。

4 軒部の取り付け

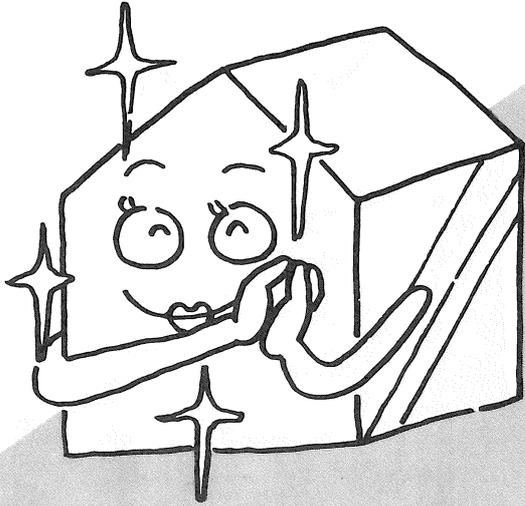
※保温カーテンの穴に吊り紐を通し、垂木のブレース取り付け用穴に吊り紐を引っ掛けて下さい。



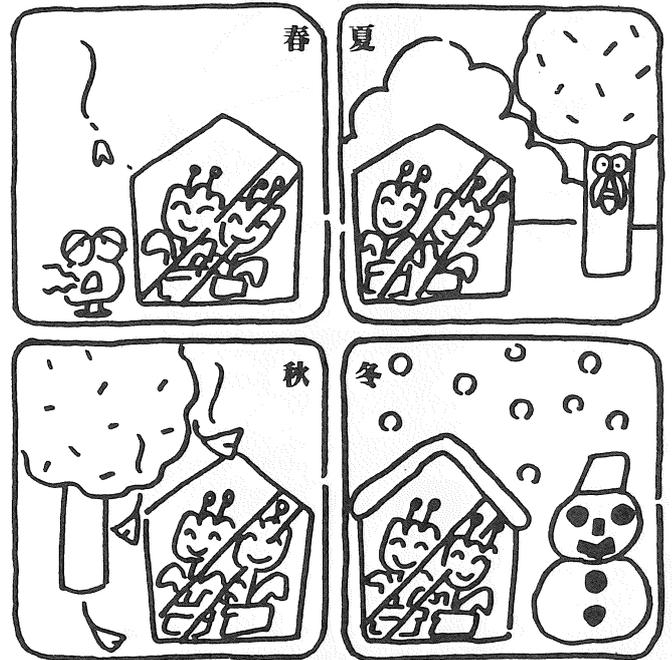
- 寸法：W1,550×H2,250×D1,560
- 塩化ビニール 厚さ0.1mm
- 取付部品付

これで安心、ぴちカ10の気くばりメニ

☆いつまでも、
新妻みたいに美しい?!



☆1年中、I Love植物!



●構造材(アルミフレーム)は、耐食アルミ合金押出型材に耐食アルマイト処理をした上、ホワイト電着塗装したもので、サッシ窓と同じものです。いつまでも光沢のある美しさを保つことができます。

●取扱いには、キズをつけないように注意して下さい。汚れはぬれぞうきんできれいにふきとれますが、定期的には中性洗剤を使って水洗いして下さい。

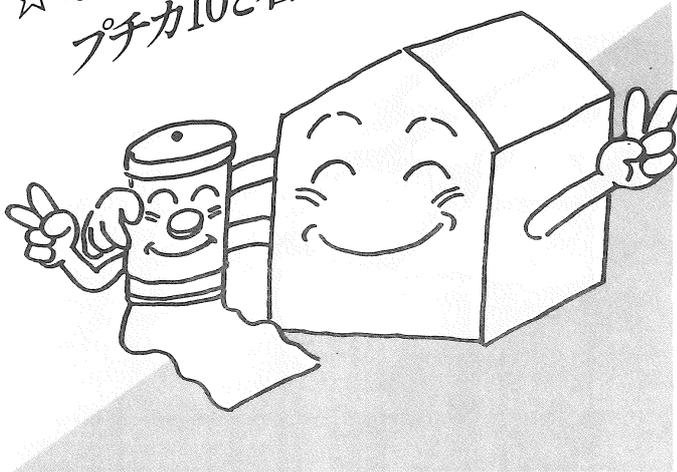
●園芸棚は鉄製や木製の物が市販されていますが、腐ったりサビたりしますので、専用のアルミ製園芸棚をお勧めします。(棚板も鉄に樹脂コーティングしてありますので、サビ等の心配がありません。)

●設置は陽の当たる東側か南側が最適です。花や果物の栽培をより効率よくするためには、一般的に日中18℃～25℃、夜間12℃～15℃が快適温度ですから、季節に応じて温度管理を行って下さい。

春秋	特に気候の変化が激しい季節なので、日除け、保温カーテンを併用するようにして下さい。
夏	引戸障子を取りはずしたり、天窗を開けて通気性を良くし、直射日光を防ぐ日除けカーテン(遮光率60～65%)を取り付けるようにして下さい。
冬	温暖地、寒冷地によって違いますが、電気温風機、保温カーテンを併用して温度管理をするようにして下さい。(保温カーテンは保温効果が大きく、電気代の節約にもなります) また、電気温風機の容量が足りない場合は、使用電気温風機の個数を増やして下さい。

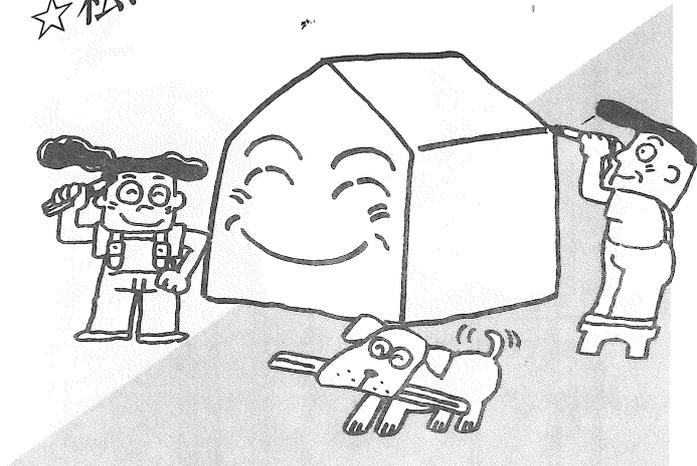
※乾燥気味の時には、温水のスプレーで葉面散布して湿度を保って下さい。湿度は一般に60～70%が理想です。(晩秋から初春にかけては午前中に散布するようにして下さい。)

☆電気温風機は、
プチカ10と名コンビ!



- 暖房器は、熱源に電気を利用するものと、白灯油を用いる暖房器がありますが、「プチカ10」には、専用の電気温風機が最適です。
- 暖房器は冬場だけの利用でなく、夏場でも利用できるサーキュレーター方式（ヒーターが止まり、ファンだけが回り風を送る）のものが便利です。「プチカ10」専用のS F1003T型(1.0坪用)は、サーキュレーター方式に加え付属のダクトをセットして棟から吊り下げて使用すると、風が循環して温室内の上下温度差を解消し、暖房費が10~20%節約できます。(ダクトは下から30cm~50cm間をあけるようにして下さい。)また、棟(吊り鉢用金具)から吊り下げますので、設置スペースがいらず、温室内が有効に利用できます。
- 電気温風機S F1003T型(1.0坪用)1kWの電気代は12時間/日稼働とし、@30円/1kWで@360円/日かかります。一ヶ月で10,800円、シーズン5ヶ月で54,000円になります。(一般的には、白灯油100%とすると、都市ガスは193%、LPガス270%、電気447%になります。)
- 1坪温室で、外気温に対し10°Cの差を設けるには通常500kcal~1000kcal(1kW=860kcal)を必要とします。
- 電源コードの差し込みは、家の中からか、屋外に取り付けるかを電気屋さんに相談して下さい。(屋外の配線は漏電等にご注意下さい。)
- 5月頃から9月頃にかけては、暖房器は不要になります。不要時には、暖房器を取りはずし、清掃して片付けておくことをお勧めします。

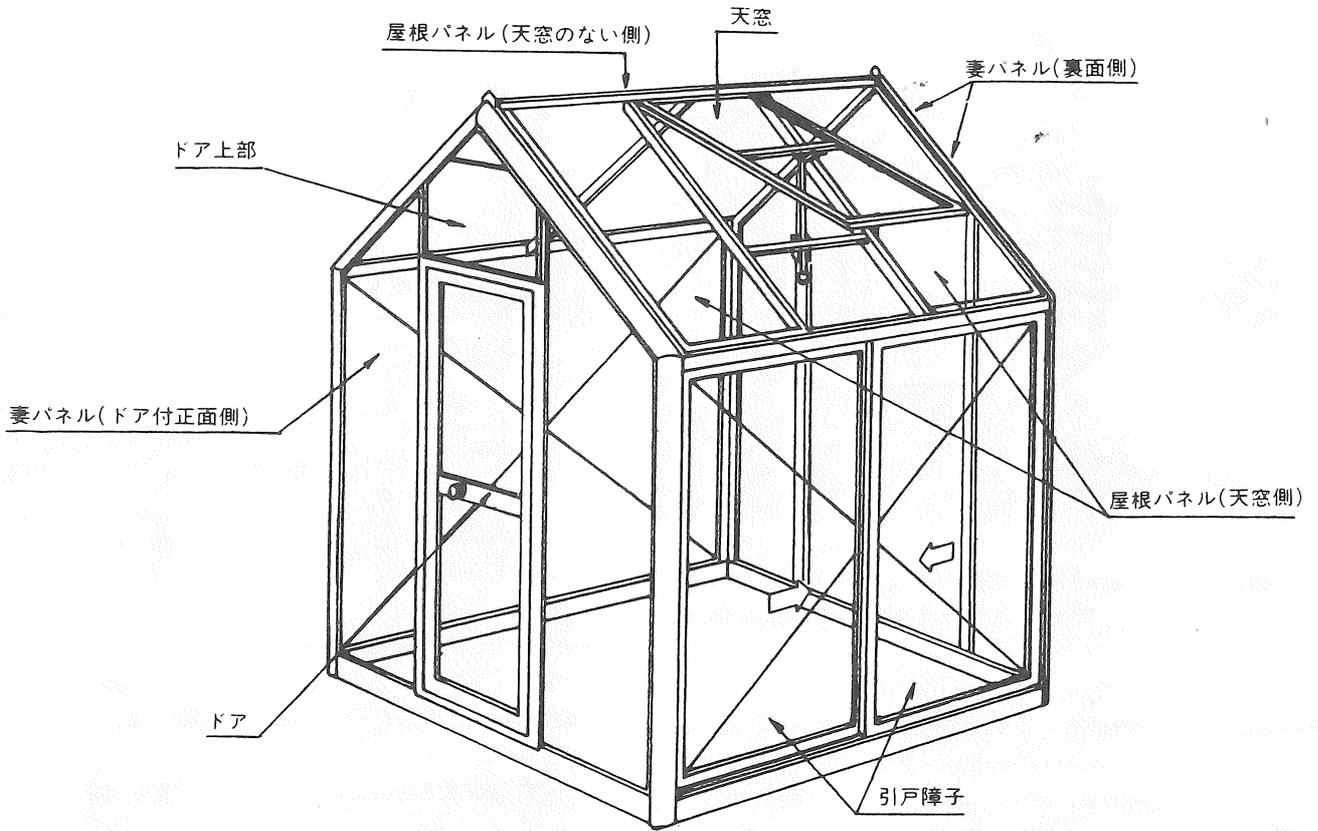
☆私にも手伝わせて下さいナ?!



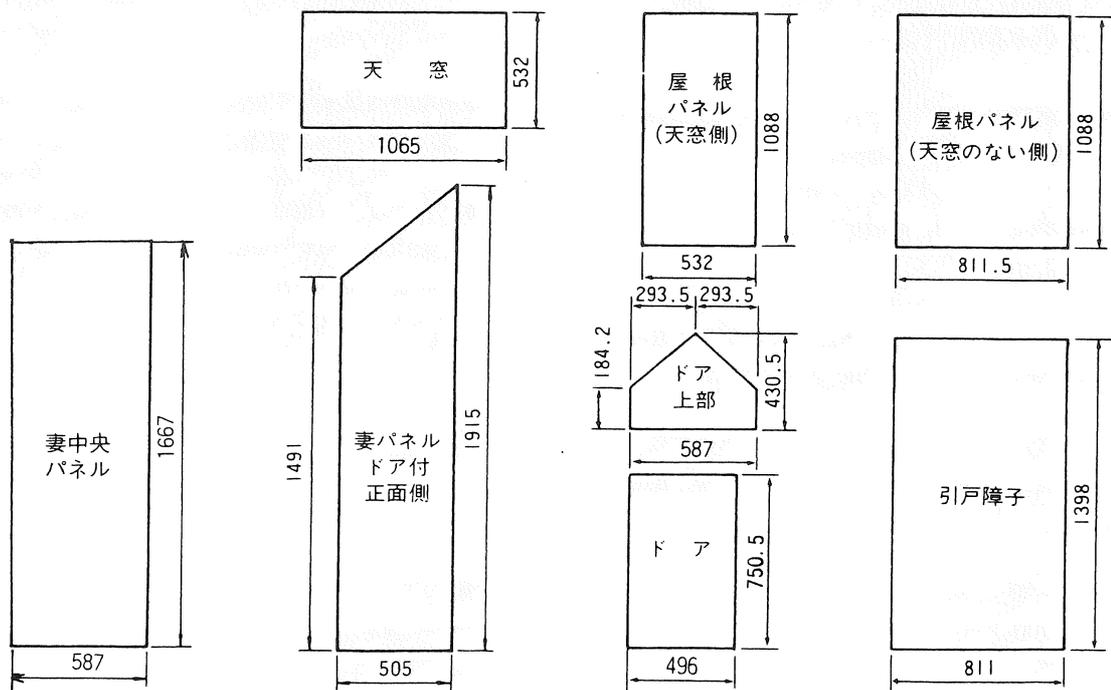
- 「プチカ10」は、強化ガラスを組み込んだパネル式ですから、プラスドライバーとスパナ#10で誰にでも組み立てられます。組立時間はご夫婦で約3時間、ご家族で楽しみながら作業して下さい。
(天窓側が風下の方向になるように設置して下さい。)
- 面積に対し背が高い(約2300mm)ので、設置する時には必ずアンカーを打ち込んで下さい。地面が軟弱な場合はコンクリートで補強して下さい。(土間や屋上に設置する場合は、ブロック基礎を敷いてお建て下さい。「プチカ10」の本体重量は161kgです。)
- 強風時には必ず引戸障子、天窓を閉め、ワイヤーやロープで、棟木端カバーと壁等とをしっかりとつないで下さい。
- ガラスは、普通ガラスより3倍の強度がある強化ガラスです。ご使用中、万が一破損した場合は、ガラス店の普通ガラスでもかまいませんが、お買い上げ店かメーカーに連絡して強化ガラスを注文するようにして下さい。

■アフターサービス

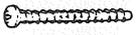
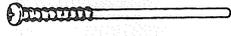
万が一故障したり、部品が破損、紛失した場合は、購入店に連絡して下さい。



■ ガラス寸法図



③④組立ネジセット明細表

名 称	形 状	寸 法	数 量
⊕ 皿タッピンネジ		∅5×16	4本
⊕ ナベタッピンネジ		∅5×25	2本
⊕ 皿小ネジ		M5×20	2本
⊕ ナベタッピンネジ		M4×40	12本+予備1本
⊕ ナベタッピンネジ		M4×60	8本+予備1本
⊕ ナベタッピンネジ		M4×10	58本+予備2本
⊕ 丸小ネジ		M6×10	37本+予備1本
六角ナット		M6	15ヶ+予備1ヶ
バネ座金		M6	17ヶ+予備1ヶ
穴 栓		∅9	8ヶ+予備1ヶ
⊕ 丸小ネジ		M6×12	4本
六角ナット		M6	4ヶ

ピカ コーポレイション

ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

本 社 〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル **0570-064065** (土日・祝祭日を除く 9:00~17:00まで)

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

719690301382